

# 関東地区



粕谷 亮美

関東地区代表

瀬部 貴行

副代表

●主な活動団体（普及委員会関係）

- ・ Tokyo Biblio
- ・ 若手ビブリオバトル
- ・ ビブリオバトル LOD プロジェクト
- ・ 紀伊國屋書店ビブリオバトル推進チーム
- ・ 文教大学ビブリオバトルサークル（Biblio 文教）
- ・ ビブリオバトル in 有隣堂
- ・ SF 文学振興会
- ・ 着物でビブリオバトル
- ・ 関内まちづくり振興会
- ・ BiblioEi8ht
- ・ 一般社団法人ビブリオポルトス
- ・ 活字文化推進会議
- ・ 東京都練馬区立南田中図書館
- ・ サンタポスト
- ・ brisa libreria
- ・ NPO 法人新座子育てネットワーク
- ・ 東京ビブリオバトル・バイリンガル
- ・ 鷺沼 Book 倶楽部
- ・ ビブリオバトル in 越谷
- ・ ビブリオバトル in ぼんとん
- ・ 小金井市立図書館貫井北分室

## ひとりとみんなでやってみる。～ひとり普及委員の活動例～

作成者 宮本皐（花岡猫子）（関東地区）  
連絡先 [okanekoko@gmail.com](mailto:okanekoko@gmail.com)  
Twitter @okanekoko

### 目次

- ・自己紹介
- ・2014年度（2014年4月～2015年3月）の活動
- ①若人ビブリオバトルat新宿
- ②居酒屋ビブリオバトルat町田
- ③居酒屋ビブリオバトルat新宿
- ④町田市立中央図書館でのビブリオバトルの司会
- ・今後の活動予定

### \* 自己紹介 \*

こんにちは、私は花岡猫子（はなおか ねここ）といいます。関東地区の普及委員です。

私は普段から、書店や公共図書館、知り合いが開催するビブリオバトルに参加しています。ですが時々、自分からビブリオバトルが好きな友人や知り合いに声をかけ、日取りや時間を決めて、10人前後で行うこともあります。

この報告書では、2014年度の私の活動をまとめました。「**人数が少ないビブリオバトルの様子が気になる**」「**自分で開催してみたいけれど、どうやったらいいかわからない**」という方には参考になると思います。なお、目次の④は、この報告書の提出後の活動となります。ご了承ください。

### ・ 2014年度の活動

ここでは、私個人の2014年度における活動を報告します。

自分で主催したものが3回、他の主催に参加したものが8回でした。そのうち、主催したものを報告いたします。（紹介された本リストは、★がついているものがそのゲームのチャンプ本となります）

#### ①若人ビブリオバトルat新宿 開催日：2014年2月2日

〈開催のきっかけ〉

これは、「10代、20代の若手」にビブリオバトルを広めていく活動を行っている「若手ビブリオバトル（Twitter:@theYouth\_Biblio）」という団体との開催でした。2010～2013年のビブリオバトル首都決戦開催時に知り合った首都圏の学生の多くが大学卒業を迎える前に、一度集まってビブリオバトルをすることが目的でした。当日は社会人となったメンバーも参加し、大いに盛り上がりました。以下、紹介された本です。

### 第一ゲーム

1. 『クトゥルフ神話TRPG（ログインテーブルトークRPGシリーズ）』 著：サンディ・ピーターセン、リン・ウィリス 訳：中山てい子、坂本雅之（KADOKAWA/エンターブレイン）
2. 『新装版 ロボットポンコツ グレイテスト編（上）』 漫画：タモリはタル、原作：下田淳&レッド・エンタテインメント（講談社）
3. 『チャタレイ夫人の恋人』 著：D・H・ロレンス 訳：伊藤整 補訳：伊藤礼（新潮文庫）
4. 『吼えろペン』 島本和彦（小学館）
5. ★『恋愛カースト』 峰なゆか・犬山紙子（宝島社）

### 第二ゲーム

1. 『大笑点<Vol.1>「北か朝鮮、待ってたホイ」の巻』 立川談志（竹書房）
2. 『夢中になる江戸の数学』 桜井進（集英社文庫）
3. ★『萌える名作文学ヒロインコレクション』 萌える名作文学製作委員会（コアマガジン）
4. 『四畳半神話体系』 森見登美彦（角川文庫）
5. 『Aventura』 翠川しん（講談社）
6. 『なめこでわかる文学全集 なめこでわかる名作文学』 小嶋まり（幻冬舎）

### 第三ゲーム

1. 『「若者の現在」 労働』 編集：小谷敏、土井隆義、芳賀学、浅野智彦（日本図書センター）
2. ★『equus エクウス』 えすとえむ（祥伝社）
3. 『新世界より』 貴志祐介（講談社）
4. 『図書館戦争』 有川浩（角川文庫）

今回の場では、参加者の年齢が近いことから気軽に話しやすく、さらにお互いの共通の趣味を見つけやすい雰囲気でした。本について話すことで「それ、私も/僕も好きです」と自分のことを話し、交流が深まった印象があります。

#### ②居酒屋ビブリオバトルat町田 開催日：2014年7月11日

〈開催のきっかけ〉

2014年5月6日、有隣堂アトレ八王子店でビブリオバトルが開催されました。このビブリオバトルに私がバトラ（紹介者）として参加し、その後の懇親会でほかの参加者と意気投合。どなたかの「飲みながらビブリオバトルがしたい」というコメントから企画に至りました。

場所は参加者のみなさんが集まりやすい町田にしました。以下、紹介された本のリストです。

### 第一ゲーム

1. 『成長から成熟へーさよなら経済大国』 天野祐吉（集英社新書）
2. 『泣く大人』 江國香織（角川文庫）
3. 『時計じかけのシズク』 海野螢（OKS COMIX）



- 『東スポ伝説—一面見出し、そこは一行の劇場だ』東スポ探検隊（ピンポイント）
- ★『ただしいブスのほめ方—「また会いたい」と思わせる35の社交辞令』トキオ・ナレッジ（宝島社）

## 第二ゲーム

- 『くちぶえカタログ』杉浦弥太郎（静山社）
- 『変態』藤本ひとみ（文芸春秋）
- ★『戦争を平和に変える法—“紛争解決入門”の巻』著：ルイズ・アームストロング、訳：筑紫哲也（河出書房新社）
- 『まんだらけLIVE(Vol.1)』編集：まんだらけ出版部（まんだらけ出版部）
- 『友情』武者小路実篤（新潮文庫）



この回はドレスコードが浴衣でした。（着てこれる人が着てくる、というもので、強制ではありません。）時期も7月の上旬で、七夕や暑気払いになぞらえてこのようになりました。

開催する時期や場所に合わせてドレスコードを指定すると、いつもと雰囲気が変わって面白くなります。

## ③居酒屋ビブリオバトルat新宿 開催日：2014年11月27日

〈開催のきっかけ〉

2014年10月ごろから、「飲みながらビブリオバトルがしたい」と私や友人同士で話が弾み、企画に至りました。

## 第一ゲーム

- 『くらやみの速さはどれくらい』エリザベス・ムーン：作、小尾芙佐：訳（ハヤカワ文庫SF）
- ★『刻刻』堀尾省太（講談社）
- 『邪悪な植物—リンカーンの母殺し！植物の様々な蛮行』エイミー・スチュワート：著（朝日出版社）

## 第二ゲーム

- 『紀元二千六百年 消費と観光のナショナリズム』ケネス・ルオフ：著、木村剛久：訳（朝日新聞出版）
- 『詩のむこうで、僕らはそっと手をつなぐ。—萌詩アンソロジー』川口晴美：編集（ふらんす堂）
- ★『大東京トイボックス』うめ（幻冬舎コミックス）
- 『そなんじゃねえよ』和泉かねよし（小学館）

## 第三ゲーム

- 『ZOOKEEPER』青木幸子（講談社）
- 『蜜の味』壇蜜
- 『きょうのおことば』いがらしみきお（Bbmfマガジン）
- ★『夜の写本師』乾石智子（東京創元社）
- 『ゾンビ・サバイバルガイド』マックス・ブルックス：著、森瀬繚：翻訳監修（エンターブレイン）

これは新宿の居酒屋にて行ったものです。社会人から学生まで、ビブリオバトルが好きな人々が集まり3ゲーム目まで盛り上がりしました。今回の特徴は、本を持ってこれなかった人がタブレットを借りて書影を検索し、それを表示しながらバトルに臨んだことです。ビブリオバトルで電子版、もしくは本の書影を使うことは、単純に「持ってくるのを忘れた」といった場合だけではなく、「冊数が多くて持ってきてにくい」という本にも対応できると実感しました。

## ④町田市立中央図書館でのビブリオバトルの司会

これは、この報告書提出後に予定されているビブリオバトルです。僭越ながら私が司会を担当させていただきます。

開催日時：2015年3月29日（日）

13時30分から15時30分

（ひき続き、「おわりの会」～16時30分終了予定）

場 所：町田市立中央図書館 6階ホール

主 催：まちだとしょかん子どもまつり実行委員会・町田の図書館活動をすすめる会

共 催：町田市立図書館

「まちだとしょかん子どもまつり」という、町田市内の公共図書館が行うイベントの中で開催されます。このイベントでは中央間・分館ともに様々な催し物を行います。ビブリオバトルは最終日を飾る予定です。お近くの方、よろしければお気軽にお越しください。

## ・今後の活動

2015年度も、個人で参加、友人や知り合いを通じての開催を続けていきます。私はビブリオバトルで、「こんな本があったんだ」というだけではなく、参加する人が「こんなビブリオバトルもあるんだ！」と新鮮な発見ができる場になることが理想だと考えています。今後もそのために、力を尽くしていきます。

私の個人ブログ「みどりいろのそうめん (<http://view-books226.jugem.jp/>)」においても、過去の参加記録を追加してゆく予定です。

## 2014 年度活動報告書



Tokyo Biblio 代表 亀山綾乃（関東地区）  
MAIL:Tokyo\_biblio@yahoo.co.jp  
HP:http://tokyo-biblio.com/

### <活動内容>

2011 年より亀山綾乃と鳥潟雄一を中心に、「Tokyo Biblio」として主に東京都内にてビブリオバトルを開催してきました。現在、高畑亜紗美、新藤祐一を含めた 4 名のメンバーで活動しています。

ビブリオバトルを定期的に開催しているほか、ビブリオバトル開催のプロデュースやコンサルティング、ビブリオバトルに関する講演会やワークショップの講師、各メディアからの取材対応などの活動を行っています。

### <2014 年度の活動実績>

#### ■ 主催したビブリオバトル - 9 回

ブックカフェ 6 次元と蕎麦カフェさねすけでは Tokyo Biblio の主催で定期的にビブリオバトルを開催しています。また、2014 年度は神田神保町で毎年開催されている「東京名物 神田古本まつり」の連携イベントとしてビブリオバトルが開催され、その予選会を Tokyo Biblio が主催しました。さらに、ライブハウスの阿佐ヶ谷ロフト A では「珍書」をテーマとして、編集者やライター、古書店主などのゲストをお招きしたユニークなビブリオバトルを主催しました。

- ・2014 年 4 月 12 日 ビブリオバトル at 6 次元 vol. 4
- ・2014 年 8 月 30 日 ビブリオバトル at 蕎麦カフェさねすけ Vol. 2
- ・2014 年 9 月 13 日 ビブリオバトル in 神田古本まつり三省堂書店予選会
- ・2014 年 9 月 20 日 ビブリオバトル at 6 次元 vol. 5
- ・2014 年 10 月 10 日 ビブリオバトル in 神田古本まつり千代田図書館予選会
- ・2014 年 10 月 12 日 ビブリオバトル in 西荻
- ・2014 年 11 月 15 日 ビブリオバトル at 蕎麦カフェさねすけ vol. 3
- ・2015 年 2 月 7 日 珍書ビブリオバトル
- ・2015 年 2 月 28 日 ビブリオバトル at 蕎麦カフェさねすけ vol. 4

#### ■ 開催協力したビブリオバトル - 12 回

「妖怪ビブリオバトル」は定期開催も 12 回を数えますが、当初から運営アドバイスをを行っています。また、2014 年度は八重洲ブックセンターと協力して、店舗のある東京駅周辺のビジネスパーソンをターゲットに、「ビジネス書」がテーマのビブリオバトルを開催しました。さらに、ライブハウスの東京カルチャーカルチャーからイベントプロデュースの依頼をいただき、昨年度に引き続き 2 回目となる「社会人大会」を開催しました。東京ステーションギャラリーからも東京駅開業百周年を記念したイベントを開催したいという依頼があり、「駅」をテーマにしたビブリオバトルを開催しました。

- ・2014 年 4 月 18 日 ビブリオバトル at 八重洲ブックセンター本店（主催：八重洲ブックセンター）
- ・2014 年 5 月 17 日 第 2 回ビブリオバトル社会人大会決勝戦！ at 東京カルチャーカルチャー（主催：TOKYO CULTURE CULTURE by NIFTY）
- ・2014 年 6 月 18 日 第 1 回ビジネス書ビブリオバトル at 八重洲ブックセンター本店（主催：八重洲ブックセンター）
- ・2014 年 8 月 2 日 深川怪談 2014「怪談カフェ×怪談ビブリオバトル」（主催：深川怪談実行委員会）
- ・2014 年 8 月 10 日 第拾回妖怪ビブリオバトル（主催：妖怪ビブリオバトル実行委員会）
- ・2014 年 8 月 27 日 第 2 回ビジネス書ビブリオバトル at 八重洲ブックセンター本店（主催：八重洲ブックセンター）
- ・2014 年 9 月 19 日 働く女性のためのビジネス書ビブリオバトル（主催：八重洲ブックセンター）
- ・2014 年 10 月 24 日 第拾壱回妖怪ビブリオバトル（主催：妖怪ビブリオバトル実行委員会）
- ・2014 年 11 月 1 日 ビブリオバトル in 神田古本まつり（主催：神田古書店連盟）
- ・2014 年 11 月 29 日 東京駅開業百年記念 スペシャル・オープン・ウィーク「美術館でビブリオバトル!?～『駅』をテーマに書評合戦！」（主催：東京ステーションギャラリー）
- ・2014 年 12 月 28 日 ダメ人間ビブリオバトル（主催：新藤祐一）
- ・2015 年 2 月 21 日 第拾貳回妖怪ビブリオバトル（主催：妖怪ビブリオバトル実行委員会）

#### ■ 講師 - 7 回

2014 年度は東京都内だけでなく、石川県や栃木県へも講師として招かれ、ビブリオバトルの活用方法について講演を行いました。また、講演会とワークショップや公開質問会を組み合わせることで、より深くビブリオバトルを理解していただけるよう、工夫を重ねました。

- ・2014 年 7 月 20 日 金沢ナイトミュージアム 2014 泉鏡花記念館 書物の可能性を信じる—プロフェッショナルたちのメッセージ「人を通して本を知る、本を通して人を知る／泉



鏡花 de ビブリオバトル！」

- ・2014 年 7 月 12 日 平成 26 年度栃木県高校生読書活動推進事業 読書コンシェルジュ育成講座「ビブリオバトル入門講座」
- ・2014 年 10 月 23 日 千代田区立日比谷図書文化館 日比谷カレッジ「もっと活用したい人のための ビブリオバトル実践講座—中級編—&公開質問会」
- ・2014 年 11 月 15 日 栃木県野木町 ビブリオタウン野木「第 1 回ビブリオバトル大会事前準備会」
- ・2014 年 11 月 28 日 千葉県高等学校教育研究会学校図書館部会研究部実務研修会「やってみよう！ビブリオバトル」
- ・2014 年 12 月 14 日 栃木県野木町 ビブリオタウン野木「第 1 回知的書評合戦ビブリオバトル」
- ・2015 年 1 月 28 日 明星大学「楽しもう、やってみよう、ビブリオバトル 講演会＋ワークショップ」

## ■ メディア掲載—17 回

2014 年度はイベント開催時にプレスリリースの発信を行ったことで、新聞の地方紙や地域情報サイトへの掲載に加えて、出版関係の専門誌にビブリオバトルの情報を掲載していただきました。

- ・2014 年 6 月 10 日『日経ウーマンオンライン』に「第 2 回ビブリオバトル社会人大会決勝戦！ at 東京カルチャーカルチャー」の様子が紹介されました。

<http://wol.nikkeibp.co.jp/article/trend/20140528/182001/>

- ・2014 年 7 月 21 日『北國新聞』に「人を通して本を知る、本を通して人を知る／泉鏡花 de ビブリオバトル！」の様子が掲載されました。

<http://www.hokkoku.co.jp/subpage/H20140721103.htm>

- ・2014 年 7 月 27 日の『下野新聞』に「ビブリオバトル入門講座」の様子が掲載されました。

<http://bibliobattle.sakura.ne.jp/img/20140727simotsuke.JPG>

- ・2014 年 10 月号『東京人』の「読書をシェアする、さまざまなカタチ」に「怪談カフェ×怪談ビブリオバトル」の様子が掲載されました。

[http://www.toshishuppan.co.jp/tokyojin\\_shousai.php](http://www.toshishuppan.co.jp/tokyojin_shousai.php)

- ・神田神保町の公式タウンサイト「ナビブラ神保町」の 10 月特集に「ビブリオバトル in 神田古本まつり」についての紹介が掲載されました。

<http://www.navi-bura.com/special/1410furuonfes.php>

- ・神田神保町のポータルサイト『BOOKTOWN じんぼう』に「ビブリオバトル in 神田古本まつり」についての紹介が掲載されました。

<http://jimbou.info/news/140901.html>

- ・2014 年 10 月 14 日『銀座経済新聞』に「もっと活用したい人のための ビブリオバトル

実践講座—中級編—&公開質問会」についての紹介が掲載されました。

<http://ginza.keizai.biz/headline/2630/>

- ・2014 年 10 月 23 日『マイナビニュース』に「ビブリオバトル in 神田古本まつり」についての紹介が掲載されました。

<http://news.mynavi.jp/news/2014/10/23/018/>

- ・2014 年 10 月 26 日『産経ニュース』に「ビブリオバトル in 神田古本まつり」についての紹介が掲載されました。

<http://www.sankei.com/life/news/141026/lif1410260022-n1.html>

- ・2014 年 9 月 12 日『週刊読書人 3056 号』に「ビブリオバトル in 神田古本まつり」についての紹介が掲載されました。

- ・2014 年 10 月 24 日『BOOK 在月 book2』にトークイベント「ビブリオバトル×ブック交換×一箱古本市 本を使ったコミュニケーションの可能性」についての記事が掲載されました。

- ・2014 年 12 月 12 日『YOMIURI ONLINE』にビブリオタウン野木「第 1 回ビブリオバトル大会」についての紹介が掲載されました。

<http://www.yomiuri.co.jp/local/tochigi/event/etc/20141213-OYTBT50010.html>

- ・2014 年 12 月 20 日『図書新聞新年特大号』に「珍書ビブリオバトル」についての紹介が掲載されました。

- ・2015 年 1 月 21 日『出版ニュース 2015 年 1 月下旬号』に「珍書ビブリオバトル」についての紹介が掲載されました。

- ・2015 年 2 月 15 日『産経新聞』に「珍書ビブリオバトル」についての記事が掲載されました。

<http://www.sankei.com/life/news/150215/lif1502150031-n1.html>

- ・2015 年 2 月 21 日『朝日新聞』に「珍書ビブリオバトル」についての記事が掲載されました。

- ・2015 年 3 月 3 日 WEB マガジン『月に吠える通信』で「珍書ビブリオバトル」のようすが紹介されました。

（前編） <http://magazine.moonbark.net/news/chinsyo1/>

（後編） <http://magazine.moonbark.net/news/chinsyo2/>

## ■ その他

- ・動画でみるビジネス書の書評サイト『Business Book Review』に八重洲ブックセンターでのビブリオバトルの様子が紹介されました。

<http://businessbookreview.jp/pg213.html>

- ・千代田区読書振興センターが運営する「ちよびたブログ」に「ビブリオバトル in 神田古本まつり」についての紹介が掲載されました。

<http://chiyoda-dokusho.jp/blog/2014/09/in.html>

<http://chiyoda-dokusho.jp/blog/2014/11/post-219.html>

・2014年12月15日ライターで編集者の空犬太郎さんのブログ『空犬通信』に「珍書ビブリオバトル」についての紹介が掲載されました。

<http://sorainutsushin.blog60.fc2.com/blog-entry-2363.html>

・2015年2月5日編集者のハマザキカクさんのブログに「珍書ビブリオバトル」についての紹介が掲載されました。

<http://hamazakikaku.blog136.fc2.com/blog-entry-404.html>

・2015年2月19日ライターのとみさわ昭仁さんのブログに「珍書ビブリオバトル」に出場した様子が掲載されました。<http://d.hatena.ne.jp/pontenna/>



2014年9月13日 ビブリオバトル in 神田古本まつり三省堂書店予選会



2014年5月17日 第2回ビブリオバトル社会人大会決勝戦！ at 東京カルチャーカルチャー

# 2014年度 ビブリオバトル活動報告書

関東地区担当 山口真由

本年度は新座ビブリオ、山梨県立図書館、社内ビブリオなど多岐に活動させていただきましたが、今回は高校生と教育機関を介さないプライベートな交流を可能にした「若手ビブリオバトル」の事例をご紹介します。

## ・開催概要

「若手ビブリオバトル@Cafe&Dining SUN」

日時:2014.9.27 12:00～15:00

住所:埼玉県戸田市元町 5-12-30

参加者:12名(発表8名、観覧4名)

年代:高校生～社会人

## ・紹介本一覧

第一ゲーム(一般の部)

1:『宇宙戦艦ヤマト 2199』むらかわみちお

2:『虐殺器官』伊藤計劃

3:『遊びと人間』ロジェ カイヨフ

4:『運命の女の子』ヤマシタトモコ

チャンプ本:『遊びと人間』ロジェ カイヨフ

第二ゲーム(全国大学ビブリオバトル2014 予選会)

1:『原くるる処女戯曲集 六本木少女地獄』原くるる

2:『ハーモニー』伊藤計劃

3:『わたしのいもうと』松谷みよ子

4:『階段途中のビッグ・ノイズ』越谷オサム

チャンプ本:『原くるる処女戯曲集 六本木少女地獄』原くるる



## ・感想

高校生は観覧1名、発表1名でしたが、本を介して会話も弾み、その後別のビブリオバトルにも参加してくれるようになりました。交流促進として年代の隔てなくビブリオバトルが機能した事例になったと考えます。



研究所ビブリオバトルの開催および  
ビブリオバトル LOD プロジェクトの活動

常川真央（関東地区）  
日本貿易振興機構（ジェトロ）  
アジア経済研究所 図書館  
Twitter ID: @kunimiya



1. ビブリオバトルーとしての活動

ビブリオバトルの発表者としての参加実績は以下のとおりです。

| 開催日時      | イベント名                               |
|-----------|-------------------------------------|
| 06 月 14 日 | ビブリオバトル春のワークショップ 2014               |
| 07 月中旬    | 第 0 回 アジ研ビブリオバトル                    |
| 07 月 25 日 | 常川真央博士号取得記念筑波ビブリオバトル                |
| 07 月 31 日 | 第 1 回 アジ研ビブリオバトル                    |
| 08 月 24 日 | 第 19 回 ビブリオバトル in 有隣堂               |
| 08 月 29 日 | 第 2 回 アジ研ビブリオバトル                    |
| 09 月 27 日 | 若手ビブリオバトル@Café&Dining SUN           |
| 11 月 23 日 | 若手ビブリオバトル at 喫茶へそまがり                |
| 11 月 28 日 | 第 5 回 アジ研ビブリオバトル                    |
| 12 月 14 日 | 全国大学ビブリオバトル 2014 京都決戦<br>懇親会ビブリオバトル |
| 01 月 31 日 | ビブリオバトル at 八王子北野 vol.3              |

紹介本や勝敗結果についての詳細情報は以下のウェブページをごらんください。

常川真央.”ビブリオバトル戦歴”. 状況に埋め込まれたブログ.  
<http://www.kunimiya.info/profile/bibliobattle>

2. アジ研ビブリオバトルの開催

勤務先であるアジア経済研究所にて、職員同士の交流を深めることを目的としたビブリオバトルを定期的に開催しました。開催団体は職員 4 名からなる有志によって構成されています。会場は研究所図書館のスペースを使用しており、月末の休館日に開催しています。2014 年 7 月より開催を実施し、これまでに 6 回開催し、回平均 30 名前後の職員が参加しています。

また、アジア経済研究所の発行する雑誌『アジ研・ワールドトレンド』誌上に、「場としてのアジ研図書館」を執筆し、アジ研ビブリオバトルの概要について紹介しました。

常川真央. 場としてのアジ研図書館. アジ研・ワールドトレンド. 2015, vol.3, p.66. [http://d-arch.ide.go.jp/idedp/ZWT/ZWT201502\\_019.pdf](http://d-arch.ide.go.jp/idedp/ZWT/ZWT201502_019.pdf)

3. ビブリオバトル LOD プロジェクトの推進

ビブリオバトルの参加・開催以外の活動として、ビブリオバトル LOD プロジェクトの企画・推進があります。ビブリオバトル LOD プロジェクトとは、ウェブ上に存在するビブリオバトル開催情報を体系的に整理し、学術研究やシステム開発へ活用可能なデータセットを作成・公開するプロジェクトです。

現在、ウェブ上には大量のビブリオバトル開催情報が存在していますが、その多くは同一のバトルについて記述している他のデータと関連付けられていません。例えば、Facebook に投稿されたイベント情報と YouTube に投稿された発表動画があるにもかかわらず、関連付けられていないといったケースです。

ビブリオバトル LOD プロジェクトの現在の活動として、以下の 3 つの活動を推進しています。

(1) データセットの作成・公開

ウェブ上に公開されている情報をもとにビブリオバトル開催情報を体系化したデータを、以下のデータ共有サイトに掲載しています。

ビブリオバトル LOD プロジェクト. “ビブリオバトル LOD”. オープンデータ共有 & ダウンロード | LinkData. <http://linkdata.org/work/rdf1s1923i>

データの規格については公式サイトの解説ページをご覧ください。

ビブリオバトル LOD プロジェクト. “データ仕様”. ビブリオバトル LOD プロジェクト公式サイト.  
<https://sites.google.com/site/bibliobattlelod/data-schema>

(2) データセット活用・作成支援のためのデータベースサイトの構築

既に作成したデータセットの利用と、データセットの作成支援を目的としたビブリオバトル情報のデータベースサイト「Bibliobattle Records」を現在構築中です。これによって、ビブリオバトル開催団体が体系的にビブリオバトル開催情報をウェブ上に提供することを支援します。また、データベースサイトにはビブリオバトルの「戦績」を登録し、プロフィールページを公開する機能を提供することで、ビブリオバトルの交流サイトとしても使われるようなサイト構築を目指しています。



図 1 開発中の画面

(3) ポスター発表、執筆活動

プロジェクトの広報活動として、「ビブリオバトルシンポジウム 2014」にてポスター発表を実施しました。また、ビブリオバトル普及委員会公式サイト上にて、以下のとおりビブリオバトル LOD プロジェクトの紹介記事を寄稿しました。

常川真央. “ビブリオバトル LOD プロジェクトのご紹介”. ビブリオバトル普及委員会公式サイト.

4. ビブリオバトルに関する執筆・講演活動

その他、単発の執筆・講演活動として以下の活動を実施しました。

(1) 情報管理「この本！紹介します」コーナーへの寄稿

情報管理の「この本！紹介します」コーナーにて、『「本を通じた人とのつながり」を設計する』というタイトルで『ビブリオバトル』を含む書評を執筆し、読書活動の研究におけるビブリオバトルの位置付けを考察しました。

常川真央. 「本を通じた人とのつながり」を設計する. 情報管理. 2014, vol.57, no.8, p.596-599.  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/57/8/57\\_596/\\_html/-char/ja/](https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/57/8/57_596/_html/-char/ja/)

(2) 「ビブリオバトルシンポジウム 2014」学校セッション

「ビブリオバトルシンポジウム 2014」の学校セッションにおいて、コーディネーターを小野永貴氏と共同で務めました。

(3) 「ビブリオバトル春のワークショップ 2014」事例報告

「ビブリオバトル春のワークショップ 2014」の事例報告セッションにおいて、「筑波大学雙峰祭におけるビブリオバトル活動について」という題で発表を行い、筑波大学在学時のビブリオバトル活動について紹介しました。



## 活動報告書

平正人（関東地区）

[taira@koshigaya.bunkyo.ac.jp](mailto:taira@koshigaya.bunkyo.ac.jp)



活動母体：

A 平正人（ビブリオバトル普及委員）

B 文教大学学生サークル《Biblo 文教》（顧問：平正人、学生数 3・4 年生 20 人）

C 教育学部「基礎演習Ⅱ」（担当：平正人、学生数 2 年生 24 人）

講演・実演講座・研修会（活動主体 A・B・C を先頭に表記）

[A・B] 《ビブリオバトル実演講座》(埼玉県立春日部女子高等学校、2014 年 3 月 14 日)

[A] 《普及データからみるビブリオバトル》(埼玉県高等学校進学力パートナーシップ推進事業思考力  
向上プログラム分科会:埼玉県教育委員会、埼玉会館、2014 年 4 月 30 日)

[A・B] 《ビブリオバトル実演講座》(埼玉県立越ヶ谷高等学校、2014 年 6 月 25 日)

[A・B] 《埼玉県春日部地区高等学校学校司書ビブリオバトル研修会》(文教大学、2014 年 7 月 25 日、  
参加校:春日部高校、春日部女子高校、春日部東高校、春日部工業高校、庄和高校、杉戸高校、  
杉戸農業高校、宮代高校、蓮田松韻高校、白岡高校)

[A] 《彩の国 高校生ビブリオバトル 2014 参加校研究会》(埼玉会館 5B 会議室、2014 年 9 月 22 日)

[A] 《ビブリオバトル公式ルール 「簡潔さ」の哲学》(埼玉県高等学校図書館研究会司書部会  
研究集会・分科会、さいたま文学館、2014 年 10 月 31 日)

運営サポート（活動主体 A・B・C を先頭に表記）

[B] 《第 1 回 ビブリオバトル・ひまわり杯》(埼玉県立春日部女子高等学校、  
2014 年 4 月 9 日-10 日[予選会]、6 月 21 日)

[B] 《彩の国 高校生ビブリオバトル 2014》(埼玉県立越ヶ谷高等学校、  
2014 年 9 月 11 日[クラス予選会]・18 日[学年代表決定戦])

[B] 《彩の国 高校生ビブリオバトル 2014》(さいたま文学館・桶川市民ホール、2014 年 10 月 4 日)

[B] 《緑っ子ビブリオバトル》(福島県郡山市立緑ヶ丘第一小学校、2014 年 11 月 19 日-20 日)

[B] 《全国高校ビブリオバトル 2014 関東甲信越大会》(よみうり大手町ホール、2014 年 11 月 23 日)

[C] 《ビブリオバトルで交流しよう》(平成 26 年度越谷市大袋公民館・文教大学共催事業、大袋公民館、  
2015 年 1 月 31 日)

取材記事【資料1】

『かすかべファミリー新聞』(2014 年 4 月 24 日) ＊《第 1 回 ビブリオバトル・ひまわり杯》紹介

『本を選ぶ 高校図書館版』(第 57 号、ライブラリー・アド・サービス、2014 年 5 月 10 日、4-5 頁)  
＊大学での取り組みを紹介

『朝日新聞』(2014 年 5 月 24 日) ＊大学での取り組みを紹介

『福島民報』(2014 年 11 月 21 日) ＊《緑っ子ビブリオバトル》紹介

『福島民友』(2014 年 11 月 23 日) ＊《緑っ子ビブリオバトル》紹介

『朝日新聞』(2015 年 2 月 1 日) ＊《ビブリオバトルで交流しよう》紹介

『東武よみうり新聞』(2015 年) ＊《ビブリオバトルで交流しよう》紹介

活動記録

「もうひとつのビブリオバトル」『SALA 会報』第 22 号、埼玉県大学・短期大学図書館協議会、2014 年 3  
月 31 日、2-3 頁。

「ビブリオバトル公式ルール 『簡潔さ』の哲学」『ぶっくふれんど』第 40 号、埼玉県高等学校図書館研究  
会司書部会、2015 年 1 月、10-14 頁。



『かすかべファミリー新聞』(2014年4月24日) \*《第1回 ビブリオバトル・ひまわり杯》紹介



『朝日新聞』(2014年5月24日) \*大学での取り組みを紹介



『福島民報』(2014年11月21日) \*《緑っ子ビブリオバトル》紹介



『朝日新聞』(2015年2月1日) \*《ビブリオバトルで交流しよう》紹介



『福島民友』(2014年11月23日) \*《緑っ子ビブリオバトル》紹介



『東武よみうり新聞』(2015年) \*《ビブリオバトルで交流しよう》紹介





## 2014 年度 ビブリオバトル活動報告



市川紀子（関東地区）  
ビブリオバトル in 有隣堂  
古民家×ビブリオバトル  
yurinbiblio@yurindo.co.jp

### <自己紹介>

神奈川県在住。勤務先の書店・(株)有隣堂主催「ビブリオバトル in 有隣堂」を定期開催するとともに、普及委員として講師や開催支援活動を行っています。

福岡県の仲間と「古民家×ビブリオバトル」に携わるなど、旅好きお酒好きが高じ、神奈川県にとどまらず、各地のグルメや名所を訪れ湯につかり地元の人たちと大いに楽しんでいます。ビブリオバトルには懇親会こそが命。のんびり本や作家、そこから派生するあらゆる話題を心ゆくまで楽しむのが知的大人遊戯。ビブリオバトルそのものにこだわるより、本を通し出逢うご縁、そこから深まり広がる知的文化発掘ムーブメントに可能性を見出しています。

### <ビブリオバトル略歴>

2012 年 身内グループでのビブリオバトル開始。「古民家×ビブリオバトル」結成  
ビブリオバトル普及委員会入会

2013 年 「ビブリオバトル in 有隣堂」開始。ラジオや地元TV等メディアで紹介される

2014 年 各地での講師活動が増加。横浜市「読書活動推進に関する条例」施行を受け神奈川県や横浜市との協働活動を本格化。新企画のチャレンジ年

2015 年 「ゆうりんタイムズ」創刊。次なる野望へ

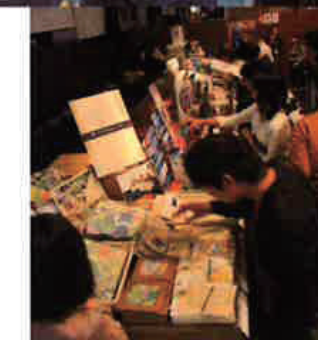


## <2014 年度の主な活動> ※明細別紙

### 1：有隣堂主催

神奈川県教育委員会後援。店舗所在地を会場とするベーシックなビブリオバトルの定期開催を続ける一方、異素材との組合せや地元企業ご当地モノに焦点を当て地域交流促進・経済活性化への貢献を目的とした新企画を開発・実施中。

◆最新の開催情報→ <http://www.yurindo.co.jp/storeguide/24993?cat=event>



### 2：有隣堂協力開催

横浜市教育委員会や市内の各図書館、学校からの依頼を受け協力事業を行う。

朝日おかあさん新聞コラボ「ビブリオバトル in 朝小サマースクール」が大好評



### 3：普及委員個人

主に図書館におけるワークショップ講師として活動中。



活動報告書

滝直哉（関東地区）  
SF 文学振興会（[www.201sfstart.jp](http://www.201sfstart.jp)）



サマリー

2014 年の活動のメインは、月例ビブリオバトル SF 大会での企画実施でした。

子どもに SF を読んでもらいたい、ということで活動している SF 文学振興会ですが、当初行ってきた、「SF の本を贈る」という活動から、「ビブリオバトルを通じて SF の面白さを知ってもらおう」という活動に中心を移してきています。行っているビブリオバトルは、月例のビブリオバトルと、SF 関係イベントでのビブリオバトルという 2 本柱。まずは、ビブリオバトルを楽しんでもらい、そこで紹介された SF に親しんでもらおう、という活動は道半ばどころか、まだ踏み出したばかり、ですが、とにかく地道に続けていくことが大事、ということで今後も続けていく予定です。

月例ビブリオバトル

- 日比谷図書館をベースに、月例のビブリオバトルを実施しました。  
人数は、それぞれですが、徐々に常連的にいらっしゃるかたも増えてきたかと感じています。

SF イベントにおけるビブリオバトルの実施

- 2014/4/13 はるこん 2015 における、ビブリオバトルの実施  
はるこんは、関東近郊を会場に毎年行われている SF ファンによるイベントです。  
2013 年の続いて、2014 年もビブリオバトル、今年もはるこん参加者からの当日参加を得て、のゲームを実施しました。
- 2014/7/19 第 53 回日本 SF 大会 なつこん におけるビブリオバトルの実施  
SF 大会は、日本最大の SF ファンによるイベントです。1962 年の第 1 回から数えて、53 回目の今年は、つくばを会場に 2 日間の日程で行われました。  
今回は、初めての試みとして、ワークショップ形式でのビブリオバトルを行いました。多くの方の参加をいただいたものの、準備不足は否めず、この点は次回への反省点です。

【2014 年度活動明細】 2014.4 月～2015.3 月

| 有隣堂主催 |                                                           | 協力開催 ★＝講師 ●＝司会 ◇補助 |                                                                          |
|-------|-----------------------------------------------------------|--------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 月日    | テーマ・【特別企画】                                                | 月日                 | 内容                                                                       |
| 4/20  | 親心を感じる本・こども心を感じる本                                         | 6/1                | ◇横浜開港祭<br>主催：横浜青年会議所                                                     |
| 5/6   | 読むと元気が湧いてくる本                                              | 8/21               | ●お母さんのためのビブリオバトル<br>「10 年経っても大好きな本」<br>朝日おかあさん新聞 10 周年記念<br>主催：朝日おかあさん新聞 |
| 7/6   | 熱いぜ！スポーツ                                                  |                    |                                                                          |
| 8/24  | 真夏の夜に読みたい怪談<br>【第 2 部 加門七海&東雅夫ミニトーク】                      | 9/23               | ★初心者向け体験ワークショップ<br>主催：横浜市山内図書館                                           |
| 9/28  | お洒落なカフェで読みたい本<br>【カフェ ハーバーズムーン ケーキ付】                      | 9/29               | ★小田原小中学校司書研修<br>主催：有隣堂                                                   |
| 10/18 | モノがたり～本に登場する文房具<br>【第 2 部 おすすめ新作文房具プレゼンバトル／：東京カルチャーカルチャー】 | 11/2               | ★横浜読書百貨展 パシフィコ横浜<br>図書館総合展フォーラム<br>主催：横浜市教育委員会                           |
| 11/18 | 小田原を訪れるなら読んでおきたい本<br>【第 2 部 小田原ご当地自慢】                     | 11/4               | ★図書館×まちの未来を語ろう<br>図書館総合展@神奈川県立図書館                                        |
| 11/29 | 全国大学・関東 E 地区決戦                                            | 11/18              | ●読書活動推進月間<br>主催：戸塚区役所                                                    |
| 12/17 | まち 【第 2 部 未来の図書館対談<br>@山内図書館】                             | 11/25              | ★中区教育研究会<br>主催：図書館教育研究部主任会                                               |
| 2/15  | 町の本屋さんで買った掘り出し本<br>【第 2 部 「本屋会議」刊行記念 やっぱり、町には本屋さんが必要です談義】 | 12/13              | ビブリオバトル・シンポジウム 2014<br>主催：ビブリオバトル普及委員会<br>【パネル司会・コーディネート】                |
| 3/15  | YBC 杯 2014 炎のグランドチャンプバトル                                  | 2/21               | ●栄区青少年読書推進フォーラム<br>主催：栄区役所                                               |
| 3/22  | YBC 杯 2014 怒濤のグランドチャンプバトル                                 |                    |                                                                          |

普及委員個人扱い 講師活動

- 8/8 初心者向けビブリオバトルワークショップ 主催：大和市立図書館
- 10/29 もっと活用したい人のためのビブリオバトル 中級講座 主催：日比谷図書館文化館  
・講師：亀山綾乃さん、瀬部貴行さん、市川
- 1/17 ビブリオバトル&本棚編集ワークショップ 主催：幕別町図書館  
・講師：太田剛さん（本棚編集）、市川(ビブリオバトル)
- 1/19 ビブリオバトル体験講座 主催：帯広市図書館

以上

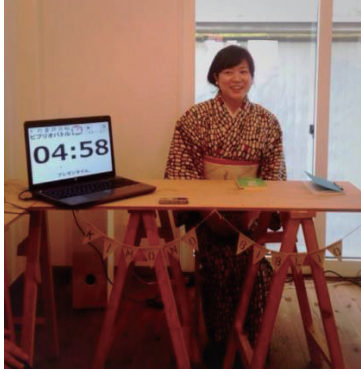
関東地区普及委員の雨宮智花です。

可愛くておしゃれなビブリオバトルを楽しみたいと、2013年にゆくりと始めました。  
ルールは公式ルールのままですが、ゲームはゆっくり進みます。

着物でビブリオバトルは "奈良生まれ" です。「奈良きもの日和」という団体があります。  
奈良の町を着物で歩こうと、イベントを通した町づくりを提供しています。  
奈良きもの日和に集まる着物好きさんに支えられ、のんびりと奈良や京都で開催しています。

さて着物でビブリオバトルには、簡単な所作がございます。

- 1、発表者さんは着物で参加  
(自由な着物スタイルで OK)
- 2、観覧者さんは着物でなくても良い  
(着物初心者さんも大歓迎)
- 2、その土地の美味しい物をちょっと食べる  
(みんなで感想を話す楽しい時間)



2014年の開催は、12/21【第3回 着物でビブリオバトル@奈良】でした。場所はカフェにこちゃん堂。町家をイノベーションしたカフェです。「キモノお譲り会」と言うイベントの中のプログラムのひとつでビブリオバトルをしました。発表者さんは5名。普及委員のふしみの益井さん、東京から花岡さんも参加して下さいました。ありがとうございます。また観覧者は19名でした。当日はほんわかした雰囲気の中で進み、観覧者ほとんどビブリオバトルを知らない方ばかりでしたが、真剣に聞いて下さる方も多く、なかなか楽しい会になりました。

最後に...  
ビブリオバトルにお着物や浴衣で参加する方が増えたらいいなあと、ちゃっかり夢なんぞ見ております(笑。これからも楽しみながら続けていきたいです。

着物でビブリオバトル Twitter  
[http://twitter.com/kimono\\_biblio](http://twitter.com/kimono_biblio)

# 関内○四五フォーラムvol.8 Y155杯 横濱的ビブリオバトル2014.6.1関内大会

枝広昌己(関東地区)  
関内まちづくり振興会  
[jimukyoku@kannai.or.jp](mailto:jimukyoku@kannai.or.jp)



Y155セントラルタウンフィスティバル(5/29~6/1)の関内地区イベントとして開催されました。<http://www.y151-200.com/archive/y155/program/kannai.html>  
横浜の大きなイベントに組み入れてもらったので、横浜にこだわり“横濱”らしい人達をバトラーにむかえて行いました。バトラーの常連さんはもちろん、帽子職人、未来の昭和歌謡の歌姫の原石や横浜でネット放送をされている方なども参戦してもらいました。盛り上がるように、下記のように各バトラーにキャッチフレーズをつけました。

|                                  |                             |
|----------------------------------|-----------------------------|
| バトラー                             | 本【テーマはフリーです】                |
| 平成に生まれた昭和歌謡の歌姫                   | うたの絵本 5 いつかのゆめ              |
| 横浜在住の気ままな帽子屋さん                   | すてきなぼうし屋さん                  |
| ハマの中小企業診断士バトラー                   | サッカー日本代表の育て方 子供の人生を変える新・育成論 |
| 横浜生まれの自称ホンノハシ                    | ひとりでいらっしやい                  |
| tOY(team Open Yokohama)の頭脳地図バトラー |                             |
| はまっこストリームの髭のオッサン                 | 愛蔵版 モモ → チャンプ！！             |

開催日:平成26年6月1日(日) 16:00~

会場:横浜メディアセンター1F 横浜市中区太田町2-23

料金:カンパ制

観客人数:20人程度



☆今回のビブリオバトルは横浜が好きな人ばかりでしたが、本の種類はかぶることなかったし、歌姫は朗読ではなく、歌ってくれたりエンタテインメントなビブリオバトルになりました。次回、開催するときは、告知に時間をかけたいです。会場代をどのように工面するかがこれからの課題ではあります。

※関内○四五フォーラムとは  
今まで関内まちづくり振興会が「関内ナイトフォーラム」として、夜に飲みながら食べながら、関内発信でちょっとした知識を得られるかもしれないイベントを行っていました。(落語・サイエンスカフェ・建築関連・クラブ貸し切りで大人の遊び方・映画上映等)。前回からは昼間も行えるということで、名前を若干変更致しました。



## 大学を中心としたビブリオバトルの開催や研究活動

小野 永貴（関東地区）

千葉大学アカデミック・リンク・センター、  
筑波大学大学院図書館情報メディア研究科



### 1. ビブリオバトルの開催・運営活動

#### 1.1 千葉大学附属図書館L棟オープニングイベントでの実施

千葉大学附属図書館は、2014年10月1日に改修工事を完了し、本館L棟をリニューアルオープンした。「黙考する図書館」をコンセプトとしたこの建物は、静かに学習が行える静寂閲覧室のほか、リラックスして読書を楽しめるラウンジも提供されている。今回、オープン記念イベントとして、学長や館長らによるセレモニーの後、このラウンジを会場にビブリオバトルを開催した。附属図書館職員のご尽力のもとで準備が進められ、小野は司会を務めた。

- 日時：2014年10月1日（水）13:30～
- 場所：千葉大学附属図書館L棟1階ラウンジ
- テーマ：新たなL棟で千葉大生に読みふけてほしい本
- バトラー：千葉大学附属図書館職員、千葉大学生協同組合ブックセンター店長、千葉大学附属図書館学生スタッフ ALSA 学生、千葉大学読書サークル学生



図1 告知ポスター



図2 ルール説明の様子



図3 投票時の様子

#### 1.2 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科常川真央さん「博士号取得記念祝賀会」での実施

ビブリオバトルの普及活動に長く尽力されてきた常川真央氏（関東地区・地区担当）が博士号を取得し、大学院を修了されることに伴い、祝賀会が開催された。大学院における最後のバトルとなることを鑑み、祝賀会内のメインイベントとしてビブリオバトルを実施した。小野は司会を務めたほか、バトラーとしても参加した。

- 日時：2014年7月25日（金）18:15～
- 場所：筑波大学 筑波キャンパス春日エリア 春日食堂
- テーマ：飛び立つ常川くん、もしくはこれからの研究室をつくる学生に必ず読んで欲しい本
- バトラー：常川真央氏，研究指導教員，研究室同期学生（小野）



図4 発表時の様子



図5 表彰式の様子

#### 1.3 筑波大学学園祭企画「近未来図書館これくしょん」での実施

筑波大学宇陀・松村研究室と筑波大学附属図書館は、筑波大学学園祭「雙峰祭」において、5年間にわたり企画を共同出展している。本年も、「近未来図書館これくしょん」と題して、近未来の図書館を志向した展示やイベントを多数実施し、その一環としてビブリオバトルが開催された。研究室の学生によって準備が進められ、小野は企画提案および準備助言にのみ関与した。なお、「近未来図書館これくしょん」は、筑波大学学園祭の企画コンテスト「雙峰祭グランプリ」において最優秀賞を受賞した。

- 日時：2014年11月2日（日）16:00～
- 場所：筑波大学 中央図書館 集会室



図6 ビブリオバトル実施時の企画会場の様子

## 2. ビブリオバトルに関する学術的活動・講演活動

### 2.1 学会発表・論文執筆等

ビブリオバトルを活用した学校での実践成果について、以下の通り発表や執筆を行った。

- 「プレゼンテーション教育における『ビブリオバトル』を題材とした口頭発表の導入実習」(日本情報科教育学会 第7回全国大会), 2014年7月, 北海道
- 「ビブリオバトルを題材とした情報発信活動の総合演習」(お茶の水女子大学附属高等学校『研究紀要』No.59), p.148～155, 2014年7月

また、「ビブリオバトル・シンポジウム 2014」のパネルディスカッションにて、学校教育セッションのコーディネーターを務め、学校現場での実践状況の情報共有や課題提起を行った。

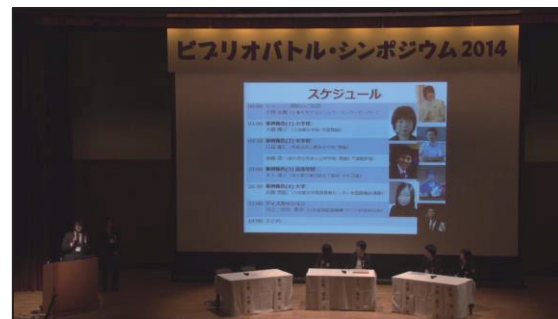


図7 学校教育セッションの様子

### 2.2 招待講演

研修等での講演依頼をうけ、以下の2回について講師を務めた。

- 「グループワーク(ビブリオバトル)の理論と実践」(独立行政法人国立青少年教育振興機構 青少年教育指導者専門研修), 2015年1月, 静岡
- 「ビブリオバトルはなぜ流行っているのか? ～孤読から協読へ、図書館と読書の革命～」(埼玉県立坂戸高等学校 学校進学力パートナーシップ推進事業講演会), 2015年2月, 埼玉



図8 坂戸高等学校での講演会の様子

### 2.3 事例報告

2014年6月14日に札幌エルプラザで開催された「ビブリオバトル春のワークショップ 2014」において、プレゼンテーションを行った。「高等学校情報科でのビブリオバトルの授業実践、および結婚式ビブリオバトルの可能性」と題し、2013年11月16日にお茶の水女子大学附属高等学校第18回公開教育研究会で行った研究授業の事例、および2014年3月30日に実施した自身の結婚披露宴での余興活用事例について、報告を行った。

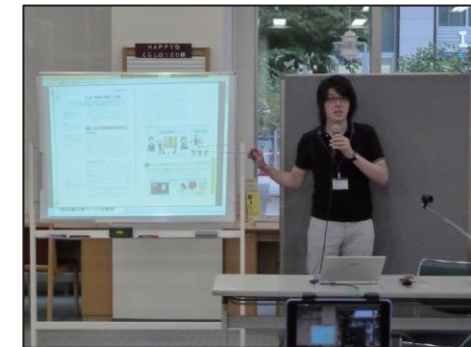


図9 事例報告の発表中の様子



## 「ビブリオバトル普及委員」名称利用申請 活動報告書

氏 名 五十嵐孝浩（関東地区）  
所 属 BiblioEi8ht | ビブリオエイト  
連絡先 biblio.ei8ht@icloud.com  
URL <https://biblio.ei8ht.wordpress.com/>  
<https://www.facebook.com/BiblioEi8ht>



【今回は 2014 年度分の活動報告で良いと思うのですが、初めての報告なので、活動を開始した 2013 年 6 月頃のビブリオバトルとの出会いから報告します】

私が、ビブリオバトルを知ったのは、文春新書の「ビブリオバトル」を店頭で見たとき、多分 2013 年の 5 月初め頃のことです。

その頃、面白い本を探すヒントとしてのレビューや書評が信じられなくなっていて、信じられる本のレビューって何だろう？Amazon のレビューはステマかも知れないし、プロと言われる人の書評には職業人として計算があるような気がする（思い込み）。そもそも本の趣味って人それぞれなのだから、レビューする人の為人が分からなければ信じられないような気がする。だって、[趣味の合う本読みの知人] がオススメする本は信じられる。だったら、もっとそういう信じられるレビューが集まる場所は作れないものだろうか？と一人で悶々と考えていました。

だからなのか、ビブリオバトルのルールを見たときに「これだ！」と思ったのです。

最初は、考えていた本の紹介の方法として、そして内容を読んだ後は、ゲームそのものの面白さに感動。読み終わる頃には「俺って、これをやるためにこれまで生きてきたのかもしれない」と思ったのです（汗）



そして、世間の開催情報を探す前に、大学時代の知人なら本読みが多いので乗ってくるに違いと想像し、久しぶりの同窓会にかこつけて**生まれて初めてのビブリオバトルを企画・開催・参加、そして発表**したのでした。

それが、下記の**2①2013/6/22 の新宿の居酒屋でのビブリオバトル**でした。

（今思えば、泥ビブがデビュー戦でした。一般開催でのデビュー戦は、6 月 30 日のビブリオバトル講演会で行ったワークショップ形式のものでした）

そのデビュー戦を企画してから開催する間に、普及委員会にアクセス、入会の意志を伝え、面談し、入会が認められたのが、2013 年の 6 月末のことでした。

当初は、地元小学校の PTA に深い関わりを持っていたこともあり、学校、特に小中学校で開催したい、出来れば地元である八王子の小中学校に普及させたいと思っていました。その時には PTA は引退していましたが、まだ OB として所属していた所謂オヤジの会である「オヤジの学校」の協力の下、小学校で開催を目論み、まずは大人の体験として開催したのが、**2③のビブリオバトル模擬戦**です。しかし、実際に学校で企画し、お手紙を配布し、参加者を募集しても応募はゼロ・・・知名度の問題なのか、読書量の問題なのか、原因は分かりませんが、学校はまったく盛り上がりませんでした。

これでは、イカン！とにかく普及させねば！地元で一般開催して知名度を上げ、外堀を埋めてから、学校開催に結びつけよう！と思い、始めたのが、BiblioEi8ht（ビブリオエイト）

の活動でした。

BiblioEi8ht は、小学校での開催には「オヤジの学校」があるけれども、これはあくまでも小学校のオヤジの会。当時、子どもが在学していた中学校には同じようなグループはない。そこで、中学校や一般でのビブリオバトル開催を行うグループとして、BiblioEi8ht を立ち上げたのです（当時は一人）



当初は、八王子での開催を考えていたので、こんな名称にしたのですが、その後、都心部に比べると開催の少ない東京の西部（市部と言うか多摩地区と言うか、所謂東京都下かな）に開催を増やしていきたいと思うようになり、現在、東京西部のビブリオバトルコミュニティの連携、活性化、普及のために、もう少し活動範囲の広い BWO などという連携団体（連絡協議会？）を作って、活動していきたい、などと考えています。

なかなか夢の実現には遠いですが、活動開始した当初よりは、かなり開催回数は増えてきていますし、BiblioEi8ht のメンバーも増えています（2015 年 3 月時点 5 名）ので、この勢いをもっと強くするよう、BiblioEi8ht として、BWO としてビブリオバトルを普及していきたいと思っています。

それでは、以下に活動記録を、「**1. BiblioEi8ht 主催分**」、「**2. 自主開催、開催協力分**」、「**3. 講師**」に分けて報告致します。  
それぞれに印象的な内容について、コメントしています。

### 1. 活動記録（BiblioEi8ht 主催分）

#### ①ビブリオバトル at 八王北野 vol.1 【入門講座&体験】

【日 時】2014 年 2 月 9 日 [日] 14:00～【場 所】北野市民センター7F カルチャールーム  
【参加者】発表 11 名＋観戦 3 名＝合計 14 名

【内 容】エキシビジョンバトル、ビブリオバトル入門講座、ビブリオバトル実戦

人生初の一般開催。前日に歴史的な大雪が降ってしまい、開催自体を取りやめようか悩むような状況でしたが、そんな夜に参加希望のメールが届き、やらねばならぬ！と降り積もった雪を掻き分けて会場に向かったことを忘れません。

そして、小中高校生が揃ったこと、地元小学校の司書さんがこっそり参加されていたことも、その後も自主開催を続ける原動力となりました。

#### ②ビブリオバトル at 八王北野 vol.2

【日 時】2014 年 4 月 26 日 [土] 13:30～【場 所】北野市民センター7F 会議室 1

【参加者】発表 11 名＋観戦 8 名＝合計 19 名 【内 容】通常バトル

#### ③ビブリオバトル at クリエイトホール vol.1

【日 時】2014 年 8 月 9 日 [土] 13:30～【場 所】クリエイトホール第 5 学習室

【参加者】発表 12 名＋観戦 11 名＝合計 23 名 【内 容】通常バトル

地元を脱出して、八王子の中心部へ！場所の違いが集客や、客層の違いを産むことを実感しました。

#### ④呑んで語ってビブリオバトル at あな蔵

【日 時】2014 年 9 月 22 日 [月] 19:00～【場 所】個室居酒屋あな蔵

【参加者】発表 10 名＋観戦 1 名＝合計 11 名

【内 容】居酒屋ビブリオバトル、テーマ：あな/充実

一般開催での初の泥ビブ。日時設定が悪いとの御意見も頂く中、お店の人まで巻き込んで楽しく開催しました。

## ⑤史上初！ダブルバウト・ビブリオバトル at クリエイトホール vol.2

【日 時】2014 年 10 月 11 日 [土] 13:30～【場 所】クリエイトホール第 7 学習室  
【参加者】発表 13 名＋観戦 9 名＝合計 22 名 【内 容】“ダブルバウト・ビブリオバトル”  
イレギュラーなルールによるビブリオバトルを開催。「2 冊の発表を義務づけた」も  
のです。基本的にビブリオバトルは 1 冊（作品）を発表するものですが、複数の作品  
が関係し合って読書がより楽しくなることを実感していましたので、実験的に開催。  
でも、予想以上の反響でとてもビックリでした。

## ⑥ビブリオバトル at ものづくりカフェ [和 RK]

【日 時】2014 年 11 月 8 日 [土] 16:00～【場 所】ものづくりカフェ [和 RK]（ワーク）  
【参加者】発表 7 名＋観戦 5 名＝合計 12 名 【内 容】テーマ：和/西

## ⑦ビブリオバトル・チャンプ大会 at クリエイトホール vol.3

【日 時】2014 年 12 月 20 日 [土] 13:10～【場 所】クリエイトホール第 7 学習室  
【参加者】発表 13 名＋観戦 8 名＝合計 21 名  
【内 容】チャンプ大会およびタイトルマッチ  
そもそも 8 月から毎月開催を頑張ってきたのは、この日  
のため。チャンプ大会を行うためにはチャンプが沢山いな  
いと開催できない（参加できない方もいらっしやるので）、  
と思ってチャンプを増やしてきたのですが、なんと蓋を開  
けてみればチャンプは全員参加！嬉しくて舞い上がりそ  
うでした。そして、更に楽しんでもらおうと、**発表者の登場に合わせてテーマ曲の演  
奏**、そして、チャンプバトル、グランドチャンプバトルを勝ち抜いた 13 名の頂点のバ  
トラーには、**世界初の「チャンピオンベルト」**を巻いてもらうことにしました！  
4 時間近い長丁場のイベントとなりましたが、参加者の皆さんには喜んで頂けたよう  
で、1 年間の主催の苦勞が報われる思いでした。  
御参加頂いた皆様、ありがとうございました。



## ⑧ビブリオバトル at 八王北野 vol.3

【日 時】2015 年 1 月 31 日 [土] 14:00～【場 所】北野市民センター7F 会議室 1  
【参加者】発表 11 名＋観戦 4 名＝合計 15 名 【内 容】通常バトル

## 2. 活動記録（自主開催、開催協力分）

### ①ビブリオバトル at おだいどこ新宿東口店

【日 時】2013 年 6 月 22 日 [土] 18:00～【場 所】居酒屋「おだいどこ」新宿東口店  
【参加者】発表 8 名＋観戦 4 名くらい 【内 容】通常バトル  
個室が取れず、普通のテーブルだったので慌ただしい感じでした。

### ②ビブリオバトル at 社内勉強会

【日 時】2013 年 7 月 11 日 [木] 12:10～【場 所】某社会議室  
【参加者】発表 4 名＋観戦 4 名くらい 【内 容】通常バトル  
昼休みに読書会的勉強を開催しているグループに入っていたので、そこで紹介して  
開催。なかなか好評でしたが・・・

### ③ビブリオバトル模擬戦 at 由井第一小学校

【日 時】2013 年 7 月 21 日 [日] 15:30～【場 所】由井第一小学校音楽室  
【参加者】発表 6 名（教師 1 名含）＋観戦 6 名くらい（児童含） 【内 容】通常バトル  
【主 催】由井第一小学校「オヤジの学校」  
授業で開催経験のある先生と保護者による「ビブリオバトルってどんなもの」かを  
知るためのエキシビション。ビブリオバトル解説も行いました。ここでは楽しんでも  
らえたと好評でしたが・・・難しいものですね。

## ④ビブリオバトル at 職場（有志）

【日 時】2013 年 10 月 24 日 [木] 12:10～【場 所】某社会議スペース  
【参加者】発表 2 名＋観戦 3 名 【内 容】通常バトル  
2 回目の職場バトル。参加者は寂しい限り・・・でも、私以外のもう一人の発表者は、  
その後 BiblioEi8ht に頻繁に参加、先日、普及委員会にも入会しました。

## ⑤ビブリオバトル at 八王子中央図書館

【日 時】2013 年 11 月 17 日 [日] 13:00～【場 所】八王子中央図書館おはなしの部屋  
【参加者】発表 7 名＋観戦 名くらい  
【主 催】八王子子ども文庫連絡協議会 【内 容】テーマ：子どもの本  
初めての一般開催での司会経験（なのに、某書籍に写真が・・・）  
それ以前に、図書館に開催要望をあげていたことが奏功して実現。思った以上に好  
評で、ここでの繋がりがさらに拡がりを産みました。

## ⑥ビブリオバトル at 土風炉・西新宿

【日 時】2014 年 6 月 6 日 [金] 21:00～【場 所】居酒屋「土風炉」西新宿 7 丁目店  
【参加者】発表 4 名＋観戦 4 名くらい 【内 容】通常バトル  
社内でダメなら呑みなら来るだろうと言うことで開催。当初の場所が使えず放浪する  
など、波乱はありましたが、まずまずの成功でしょうか？次回開催を構想中

## ⑦ビブリオバトル・エキシビション at 由井第一小学校

【日 時】2014 年 10 月 28 日 [火] 8:00～【場 所】八王子市立由井第一小学校 5 年 1 組  
【参加者】発表 3 名＋観戦 30 名くらい（児童） 【内 容】エキシビション  
【主 催】由井第一小学校司書  
BiblioEi8ht 第 1 回に参加して頂いた学校司書さんのご尽力で開催。先生、司書、私の  
3 人でエキシビションしました。念願の学校ビブリオバトルへ繋げていきたい！

## ⑧ビブリオバトル at 八王子中央図書館

【日 時】2014 年 11 月 16 日 [日] 13:00～【場 所】八王子中央図書館おはなしの部屋  
【参加者】発表 8 名＋観戦 名くらい 【内 容】テーマ：子どもの本  
【主 催】八王子子ども文庫連絡協議会  
昨年の司会デビューに続いて 2 回目。図書館開催もボランティア主催ではありますが、  
このまま継続していけると嬉しいです。

## 3. 活動記録（講師）

以下は講師してお招き頂いたものを中心に自分から説明を開催したものも入れてい  
ます。うまく出来ているのか不安ですが、何よりもその後ビブリオバトルを楽しまれ  
ている方がどのくらいいらっしやるのか分かると嬉しいのですが

### ①ビブリオバトル勉強会

【日時】2013 年 6 月 12 日 [水] 12:10～【場所】社内勉強会  
【内容】ビブリオバトルについての解説  
2②に先だってどういうものかを説明。生まれて初めてのビブリオバトルについて  
のプレゼン。この時の資料が今使っているものの原型ですが、ほとんど原型をとどめ  
ていません（汗）

### ②やってみよう！ビブリオバトル（全 2 回）

【日時】① 2014 年 6 月 28 日 [土] ② 7 月 5 日 [土] 10:00～【場所】松戸市文化ホール  
【内容】①ビブリオバトル入門講座とワークショップ形式の体験  
②通常バトル



③夏季研修「ビブリオバトルの実際」

【日時】 2014 年 7 月 30 日 [水] 13:00～【場所】 羽村市立羽村第三中学校  
【内容】 ビブリオバトルの解説と全員参加での通常バトル

④平成 26 年度校内研究

【日時】 2014 年 8 月 29 日 [金] 13:30～【場所】 八王子市立東浅川小学校図書室  
【内容】 ビブリオバトルの解説と通常バトル  
※八王子子ども文庫連絡協議会さんからのご紹介

⑤ビブリオバトルを楽しもう

【日時】 2015 年 2 月 8 日 [日] 14:00～【場所】 福生市立中央図書館  
【内容】 ビブリオバトル入門講座とワークショップ形式の体験  
※普及委員の粕谷さんとのダブル講師

4. 参加記録

主に発表者として参加したものは、大小合わせて  
2013 年度 18 戦  
2014 年度 34 戦 (3/14 現在)  
以上、52 戦。  
この他、観戦のみで参加したものが数回あります。

5. まとめ

以上を下表にまとめます。

| 種 別            | 2013 年度 | 2014 年度 | 合 計 |
|----------------|---------|---------|-----|
| BiblioEi8ht 主催 | 1       | 7       | 8   |
| 自主開催・開催協力      | 5       | 3       | 8   |
| 開催合計           | 6       | 10      | 16  |
| 講 師            | 1       | 3       | 4   |
| 参 加 (発表)       | 18      | 34      | 52  |

(2015 年 3 月 14 日時点)

以上  
2015/3/14

小松雄也 (こまつゆうや) 一般社団法人ビブリオポルトス代表理事  
関東地区担当者 連絡先: biblioportus.gia@gmail.com  
公式ホームページ: <http://komatsu16yuya.wix.com/biblioportus>



◆学歴及び受賞歴等

2006年 川崎市立西中原中学校卒業。  
2009年 日本大学高等学校卒業。  
カナダ・バンクーバー留学。  
2012年 明治大学法学部法律学科入学。  
2013年 ビブリオバトル首都決戦2013 ファイナリスト。  
2014年 明治大学法学部学部長表彰 学術活動優秀者。  
一般社団法人ビブリオポルトスを設立し、同代表理事。  
明治大学創立者記念奨学金 岸本辰雄奨学金 首席採用。  
2015年 ビブリオバトル普及委員会関東地区担当者。

■実務経歴

東京都と東京都教育委員会が主催した書評の全国大会「ビブリオバトル首都決戦2013」において、三島由紀夫の著作である「葉隠入門」を紹介し、783人の参加者の中で最終5人のファイナリストとなった。  
2014年には川崎市立中原図書館の後援を受け、ビブリオバトル入門&体験講座という形式で川崎市民を対象にしたイベントを開催。市民参加型のワークショップが好評を博し、川崎市の中原区・多摩区・宮前区・麻生区の市立図書館と市民館から要望を受けて実施。東京都の市立中学校をはじめ、川崎市立井田病院、川崎市岡本太郎美術館、富士通株式会社の社内プログラム・富士通アトリエプロジェクトにおいても実施した。  
2014年9月、読書を通じた世代間の交流・地域活性化やプレゼンテーション教育へと本格的に取り組むため、一般社団法人ビブリオポルトスを設立。法人名はラテン語で「本の港」を意味する。  
2015年に日本出版販売株式会社・アメリカ大使館アメリカンセンターJapan・明治大学地域産学連携研究センター・川崎市教育委員会等の機関と共同事業を行い、読書普及活動に力を入れている。

TARO本で語ろう！岡本太郎美術館ビブリオバトル  
(2014年11月3日) 70人参加 共催:川崎市立多摩図書館  
主催:川崎市岡本太郎美術館 実施:一般社団法人ビブリオポルトス





ビブリオバトルin和泉図書館  
(2014年11月15日) 42人参加  
主催:一般社団法人ビブリオポルトス 後援:明治大学和泉図書館

ビブリオバトル IN 和泉図書館  
BIBLIOBATTLE IN IZUMI LIBRARY

LIBRARY BIBLIOBATTLE BORROW MICROFORMS  
SELF-CHECKOUT BY OVERDUE REFERENCE COUNTER  
CHECK RETURNS PRESENTATION CARD

ビブリオバトルとは、集まった紹介者が各自お勧めの本について5分間の持ち時間の中でその魅力を語り、各紹介者の書評を聞いて、どの本が一番読みたくなったかを観客が投票で決めるゲーム形式の書評会です。

11月15日(土) 13:00~14:30  
場所:明治大学和泉図書館 1Fホール  
観覧自由(予約不要・どなたでも可)

主催:一般社団法人ビブリオポルトス 後援:明治大学和泉図書館



01 あなたのまちで、ビブリオバトルをやってみませんか？

図書館や書店に限定することなく「人を通して本を知る、本を通して人を知る」ために、ビブリオバトルは様々な場面で活用することができます。  
イベント冒頭でのアイスブレイク、企業でのレクリエーション、またはイノベーション・プログラムなどでもビブリオバトルは大きな役割を果たします。それだけでなく読書を通じて、世代間を超えた交流や、コミュニティ内での人間関係の強化、スピーチ能力の訓練、面白い本と出会う経験の共有、そして地域の活性化を促進することもできます。  
一般社団法人ビブリオポルトスでは、企画・広報・運営・報告までを一体となって行います。学校・企業・大使館などに限らず、人とのつながりが大切とされる場所ならば、どこでも開催します。

02 「読む」「聞く」「話す」そして「書く」ためのトレーニング！

日本の学校では読書感想文という夏休み恒例の課題がありますが、その具体的な書き方について指導されることは稀だそうです。本を読んで何を感じ、何を表現するのか。それはビブリオバトルの5分間の発表で「話す」ことを、3分間の質疑応答で「聞く」ことを学ぶことができます。  
また、自分の好きな本を通じて、日常生活に不可欠なコミュニケーションの基本を身につけることで「読む」ことへの興味も広がります。そして自分の考えをまとめることで「書く」という自己表現にもつながります。  
一般社団法人ビブリオポルトスでは、読書を通してこれらの「読む」「聞く」「話す」そして「書く」ためのプログラムを提供することができます。また学校教育だけでなく、企業研修や個人のレッスンにも対応します。

03 理想の本棚を作成します！

読みたい本がない。または、どんな本を買ったら良いのかわからない、という人はいませんか？代表理事の小松は、高校を卒業してから大学に入るまでの3年間で1万時間以上を読書に費やしました。読書の世界は奥深く、まだまだ未熟者ですが、小説・漫画・絵本・写真集とジャンルにこだわらず、様々な分野で紹介したい本がたくさんあります。  
本を読み、と勧める人は多いですが、どのような本を読みと具体的に話してくれる人はあまりいません。皆様の本棚の中身を充実させるためにも、今までビブリオバトルで紹介されてきた本を含めて、皆さんに提供して行きます。  
一般社団法人ビブリオポルトスでは、学校・図書館・病院などの公共スペースに限らず、そこに本があれば嬉しい空間へと本棚を提供します。団体・個人の要望にそった本のリストを月ごとに更新して選書します。

すべての人が、「読書のまち」に親しめる社会を実現する。



一般社団法人ビブリオポルトス  
※ラテン語で「本の港」を意味する

～ひとりじゃない 本でつながる キミのまち～

- 01 あなたのまちで、ビブリオバトルをやってみませんか？
- 02 「読む」「聞く」「話す」そして「書く」ためのトレーニング！
- 03 理想の本棚を作成します！ 連絡先: [biblioportus.gia@gmail.com](mailto:biblioportus.gia@gmail.com)



「聖地」に足を踏み入れました！



和田 浩二(関東地区)

03-3217-1486

080-2180-1155

#### □全国大学ビブリオバトル「京都決戦」

昨年は、ビブリオ三昧の1年でした。東京都から大学生大会「首都決戦」の主催者が、読売が主管する活字文化推進会議に移りました。2010年、第1回首都決戦の創設に携わりましたが、2～4回大会は、東京都からの要請で後援に回り、いくつかの地区決戦を主催するだけで、いわば気楽な立場でした。4年ぶりに主催者に復帰し、参加団体が大幅に増え、東京国際フォーラムで開催した第1回に比べると、大会のスケールが段違いに大きくなっていることに気づかされました。さらに「記念すべき5回目、東京都の手を離れたこともあるし、今年は発祥の地、京都大学で開催しよう」という思いつきが、自分で自分の首を絞める結果となりました。予選を開催していただいた大学、公共図書館、普及委員会の皆様には、いろいろとご迷惑をお掛けすることになってしまいましたが、皆様方のバックアップを受けて無事に開催することができたと痛感しています。今年は2年ぶりに「首都決戦」になる予定です。ちなみに読売での本業は、読売が行っている大学への寄付講座業務で、時間が余ると、ビブリオバトルの説明で強引に時間を潰しておりますが、先生方には好評です。

#### □全国高校ビブリオバトル2014

昨年から全国大会化した高校生大会については、7月から始まった9つの地区大会から1月11日によみうり大手町ホールで開催された決勝大会まで、企画、運営に携わりました。なかなか参加校が集まらず、苦心した地区もあります。大会終了後、発表者、見学の生徒、引率の先生方をお招きして、ささやかな懇親会を開催するのですが、どこの大会でも、本の話、学校の話で高校生たちの話がいつまでもつきません。「本を通じて人を知る、ビブリオバトルの威力はスゴイ！」と、痛感させられる瞬間です。もう一つ、この大会を創設したことで、ビブリオバトルが生まれた京都大学工学部の旧片井研究室を訪問する機会を得ました。大会の告知を兼ねた特集紙面を制作するにあたって、谷口代表、高校生2人、大阪女学院高校国語科教諭を囲んだ座談会を企画しました。このとき、東京から連れて行った男子高校生が「ここでビブリオバトルが生まれたんですね～」と感慨深げにつぶやいていたことが忘れられません。できれば、ここで高校生大会の決勝を開催できたら、というのが今の私の願望です。(20人位しか観戦できませんが)。

## 東京都練馬区立南田中図書館 2014 年度実施報告

白木 順子

(関東地区)

1 回目:10 月 1 日 「学校司書研修」(ビブリオバトルに挑戦)にて実施

参加者:23 名(学校司書 17 名・児童担当 4 名) 発表者:学校司書 4 名

内容:学校の授業等でも実施されるようになってきたため、発表者として観戦者としての導入として実施した。ビブリオバトルとは何か?の説明から、司会役と発表者・観戦者としての全体の流れを通して学びあった。 多数が初参加だったが、若い司書パワー炸裂で紹介していたのが印象的で、大いに楽しめた。

2 回目:3 月 7 日 「第3回青少年ビブリオバトル In みなみたなか」

参加者:23 名(中高生8名・大人 15 名) 発表者:中学生 4 名

内容:3 回目を迎えた中学生大会。今回は中学 1 年生が 2 名参加だった。自分の興味のある分野や、生き方に役立っている本を紹介しており、聴く者を魅了していた。チャンプ本も決戦のうちに決まった。今回はその後(約1時間)、歓談の時間を設けたが、予想以上の好評だった。世代の違う参加者が本を介して会話が広がり興味深かったと感想を頂いた。  
また、以前は発表者だった生徒が今回は観戦者になり、逆に緊張したと興奮気味だった。また外部から来た中学生が、次回は発表してみたいと述べてくれ、継続への第一歩になった。

\* 今年度は、外部開催にもお誘いいただき参加し、研究授業(小学校)の参観もでき、学ぶことが多かった。

また、前年度はこちらでお膳立てした中学校の図書委員会でも、今年度は自主的に 2 回開催でき生徒力に感心したし、感謝の気持ちで一杯だ。

## 2014 年度 ビブリオバトル活動報告

粕谷亮美（関東地区）  
宅配書店「サンタポスト」主宰  
E-mail:santa-biblio@outlook.jp



児童書『ビブリオバトルを楽しもう』（さ・え・ら書房 2014 年 3 月発売）の執筆のため各地を取材したことがきっかけでビブリオバトル普及委員になる。

6/15 の第四回ビブリオバトル普及委員会総会にて理事就任。

### ● ビブリオバトル開催

2014 年

6/14 ものづくりカフェ和 R Kにて  
（参加者 18 名・バトラー 8 名／2 回戦）

11/24 国分寺ブックフェスティバル  
（来場者 約 300 名 バトラー 14 名／3 回戦）



2015 年

2/22 国分寺ブックタウンプロジェクト内ビブリオバトル（参加者 10 名）

3/29（予定）goto.Room18%「妖怪な本屋」ビブリオバトル

### ● ビブリオバトルセミナー・イベント

2014 年

5/19 トーハン主催（本社）ビブリオバトルセミナー講師  
（参加者 100 名）

5/20 トーハン主催（船堀会場） 同 セミナー講師  
（参加者 20 名）

6/11 江戸川区北小岩小学校 5 年生ビブリオバトル授業  
講評（区内の教師約 40 名参加）



7/4 東京ブックフェア会場内ブースにてビブリオバトル 司会

8/1 新座子育てネットワーク 子どもビブリオバトル見学

8/17 静岡市立北部図書館 ビブリオバトルセミナー講師（参加者約 50 名）

8/25 児童書連絡協議会 ビブリオバトル講師（参加者約 30 名）

9/6 新座子育てネットワーク 子どもビブリオバトル報告会 講演（参加者約 50 名）

9/26 豊島区中央図書館 職員研修 講師（参加者 37 名）

9/28 東京都高校生書評合戦首都大会予選会 講評

11/12 武蔵野市立境南小学校 教師向けセミナー講師（参加者 15 名）

11/15 東京都高校生書評合戦首都大会決勝 講評

12/3 練馬区光が丘図書館 教師・図書館員向けセミナー（参加者 15 名）

2015 年

1/11 全国高校生大会ビブリオバトル 予選・司会

2/8 福生市立中央図書館  
ビブリオバトルワークショップ講師（参加者 20 名）



### ● ビブリオバトル参加

2014 年

4/26 ビブリオエイト主宰ビブリオバトル（バトラー）

5/6 有隣堂主催ビブリオバトル（観戦）

6/1 ビブリオポルトス主宰ビブリオバトル（バトラー）

9/22 ビブリオエイト主宰 居酒屋ビブリオバトル（バトラー）

10/23 日比谷図書館「もっと活用したいためのセミナー」（参加）

11/29 東京駅美術館ビブリオバトル（観戦）

12/14 ビブリオバトルシンポジウム（参加）

12/15 全国大学ビブリオバトル（観戦）

12/20 ビブリオエイトチャンプ本大会（バトラー）

2015 年

1/31 ビブリオエイト主宰ビブリオバトル（バトラー）

2/7 小金井図書館貫井分室ビブリオバトル（観戦）



## 図書館非常勤職員の皆様とのビブリアバトル

高田 理恵(関東地区)



2014.12.15 に、図書館の非常勤職員の方々に向けて、ビブリアバトル講座をおこないました。

参加された皆さんがビブリアバトル初体験。

さらに、半数以上がビブリアバトルというゲーム自体をご存じないということもあり、2 パターンのビブリアバトルをおこないました。

講座進行内容は、

まず 1 人 1 分間の自己紹介をおこない、各人緊張を解くことから始めました。

次に、ルール説明とビブリアバトルの趣旨(コミュニケーションゲームであり、勤務する図書館でビブリアバトル開催することで「何」を達成したいのか目的を持つことが大事)を説明しました。

参加者が 11 名だったこともあり、1 回戦目は、小人数でかつ全員がバトラー参加をおこなうコミュニティ型ビブリアバトルを開催。2 回戦目に各班でのチャンプが、全員の前で発表をおこなうイベント型ビブリアバトルの 2 パターンのビブリアバトルをおこないました。

最後は、チャンプ本に選ばれた方と参加者数名から感想を頂きました。

<1 回戦目:コミュニティ型ビブリアバトル>

参加者 11 名と私を入れて計 12 名。4 名×3 グループに分かれてビブリアバトルをおこないました。発表者は円を作り、全員が発表する形です

テーマ:みんなに紹介したい1冊 発表本/著者/出版者 ☆はチャンプ本

【A グループ】

☆弱いロボット/岡田 美智男/医学書院

とっぴんぱらりの風太郎/万城目 学/文芸春秋

いろいろへんないろのはじまり/アーノルド・ローベル/富山房

ヒツジのおくりもの/宇土 卷子/沼野 正子/福音館書店

【B グループ】

☆歴史を変えた火山噴火/石 弘之/刀水書房

空色勾玉/荻原 規子/徳間書店/

星に願いを/庄野 潤三/講談社

華氏451度 新訳版/レイ・ブラッドベリ/伊藤 典夫(訳)/早川書房

【C グループ】

☆ひとりひとりの味/平松 洋子/100%ORANGE 装画・挿画/理論社

☆ぼくは「つばめ」のデザイナー/水戸岡 鋭治/講談社

希望名人ゲーテと絶望名人カフカの対話/ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ フランツ・カフカ/ 頭木 弘樹(編訳)/飛鳥新社

岡潔集 第3巻/岡 潔/学術出版会

<2 回戦目:イベント型ビブリアバトル>

1 回戦目で、各グループのチャンプ本発表者によるビブリアバトル。

C グループより、チャンプ本が 2 冊出たので計 4 名による開催です。

テーマ:みんなに紹介したい1冊 発表本/著者/出版者 ☆はチャンプ本

弱いロボット/岡田 美智男/医学書院

歴史を変えた火山噴火/石 弘之/刀水書房

ひとりひとりの味/平松 洋子/100%ORANGE 装画・挿画/理論社

☆ぼくは「つばめ」のデザイナー/水戸岡 鋭治/講談社

終了後は、参加者何名かに感想を頂きました。

・バトルと聞いて、本で何を戦う?と想像していたけれど、とても楽しかった。

・初挑戦でしたが、緊張以上に楽しかった …など、全会一致で「楽しかった!」という感想でした。

私個人の感想は、皆さん発表本への想いがとても強く、本に対する思いを聞くことで発表後は初対面なのに昔からの知り合いみたいに打ち解けることができました。

願わくば、第 2 回の開催!

そして、図書館事業としての開催に繋がりますように。

## ＜2014 年活動実績＞

上村祐子

[y.uemura.brisalibreria@gmail.com](mailto:y.uemura.brisalibreria@gmail.com)

### ＜活動内容＞

2013 年より、南青山 brisa libreria(ブックカフェ)にてビブリオバトルを開催してまいりました。関東地区亀山さんにサポートして頂き、毎回テーマを決め 1 時間ビブリオバトルについてのワークショップ+全員発表者形式のビブリオバトルを開催しています。

2015 年は、開催できておりませんが新たな形で企画していきたいと思っております。

### ＜2014 年の活動実績＞

2014 年 1 月 18 日 テーマ「生きる」

2014 年 3 月 1 日 テーマ「出逢い」

2014 年 4 月 12 日 テーマ「成長」

2014 年 6 月 14 日 テーマ「学び」

2014 年 7 月 6 日 テーマ「初恋」

2014 年 9 月 6 日 テーマ「家族」

2014 年 10 月 4 日 テーマ「仕事」

各回 4 名～15 名で、開催いたしました。

<http://brisa-plus.com/libreriaaoyama/event/category/bibliobattle>

以上

## ビブリオバトル普及委員 活動報告書

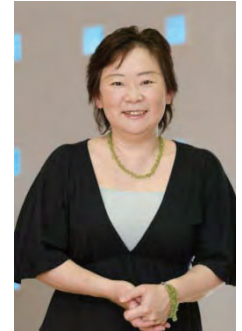
坂本純子(関東地区)

〒352-0017 埼玉県新座市菅沢 1-4-5-2F

NPO 法人新座子育てネットワーク

office@ccn01.mygbiz.com TEL0418-482-5732

<http://www.ccn.niiza-ksdt.com/>



### 普及委員としての活動

#### ●「本と遊ぼう子どもビブリオバトル応援団」事業 主催



埼玉県新座市における子どもの読書の推進活動としてのビブリオバトルの地域普及を目指し、NPO 法人新座子育てネットワークが事業計画を 2014 年に立案。推進に向け、国立青少年教育振興機構「子ども夢基金助成活動」助成申請を行い採択され、教育委員会・中央図書館の後援・協力を得て、



市内児童センター2 館、子育て支援センター、つどいの広場、親子のフリースペース等で、広くビブリオバトルを開催した。

ビブリオバトルの実施に先立ち、図書館職員や読み聞かせボランティア、地元大学教員など読書推進に関わる立場の者を対象にフォーラムを開催し、ビブリオバトルについて体験学習する機会を設け、開催計画を立案するワークショップなども行った。このほか、新座市教育委員会校長会議や図書主任研修会、図書館ボランティア・子どもの読書応援サポーター全体会議などにも出向き、ビブリオバトルを解説する機会を設けた。



7・8 月の 2 ヶ月間で、新座市内において児童と乳幼児親子が参加するビブリオバトルを 10 回主催。その模様は、ブログ



<http://www.niizabibliobattle.blogspot.jp/> で随時発信するとともに、

広報紙を発行し、市内教育機関/図書館/公民館等に配布した。

一連の事業報告会を 9 月に開催し、地域におけるビブリオバトルの普及と定着を図った。





紙 報 廣



●ビブリオバトルシンポジウム 2014 参加

「本と遊ぼう子どもビブリオバトル応援団」事業についてポスター発表

●埼玉県社会教育委員会・新座市社会教育委員会・新座市図書館協議会

委員を務める上記委員会において、ビブリオバトルを紹介するとともに、「本と遊ぼう子どもビブリオバトル応援団」事業について情報提供し、埼玉県内におけるビブリオバトルの普及を提案。

## ビブリオバトルへの参加

●2013年11月30日 新座市中央公民館主催ビブリオバトル

※NPO 法人新座子育てネットワークの若手スタッフ 5 名とともにバトラーとして参加。

●2014年1月15日、ハングアウトでビブリオバトル#2

インターネットのビデオ通話、Google ハングアウトを使ったビブリオバトル。

その後、参加を重ねる。

バトラー参加。紹介本:「三匹のおっさん」:有川浩(文藝春秋)



●2014年9月2日ビブリオバトル@HUG～サングリアを飲みながら

乳幼児親子のフリースペース HUG で開催されたサングリアを飲みながらのビブリオバトルに、バトル参加。紹介本:「フェルメールの食卓 暮らしとレシビ」林綾野(講談社)



# ビブリオバトル活動報告書

## ～東京ビブリオバトル・バイリンガル、Yokohama Book Cafe～ビブリオバトルxワールドカフェ～

大嶋友秀（関東地区）  
tommy@speaking-essay.com  
090-1255-6064



### 1. 東京ビブリオバトル・バイリンガル

この活動は、はじめ英語のビブリオバトルを実施することで、6月にはじめた。4回目から、日本語と英語の両言語を実施するバイリンガル方式で開催している。それぞれ1試合、合計2試合を実施している。

※印は、チャンプ本を示す。

#### ●第1回ビブリオバトル・イン・イングリッシュ

日時：2014年6月26日19:30 - 21:00

【英語】

※『アドルフに告ぐ』手塚治虫作、文藝春秋

『ソウル・オブ・マネー』牧野内大史、ヒカルランド

“OUT” Natsuno Kirino, Vintage

参加者：10人

場所：スピーキングエッセイミーティングオフィス（神保町）

#### ●第2回ビブリオバトル・イン・イングリッシュ

日時：2014年7月3日19:30 - 21:00

【英語】

『99%ありがとう』藤田正裕著、ポプラ社

『スティーブ・ジョブズ』ヤマザキマリ作、講談社

※『飛ぶ教室』エーリッヒ＝ケストナー作、山口四郎訳、滝平加根絵、講談社青い鳥文庫

『アウトプット速読法』小田全宏著、ソフトバンククリエイティブ

『佐藤可士和のクリエイティブシンキング』佐藤可士和著、日本経済新聞出版社

参加者：7名参加

発表者：5名

場所：スピーキングエッセイミーティングオフィス（神保町）

#### ●第3回台風のために開催できず！

#### ●第4回東京ビブリオバトル・バイリンガル（名称決定）

日時：2014年7月25日19:00 - 21:00

【英語】

“Calling The Circle” Christina Baldwin, Bantam New Age Books

※“Red Planet” Robert Heinlein, Del Rey

“Physical Chess” Billy Robinson, ECW Press

“Pride and Prejudice” Jane Austen,

『「幸せをお金で買う」5つの授業』エリザベス・タン/マイケル・ノートン著、中経出版

【日本語】

『流星ひとつ』沢木耕太郎著、新潮社

『野火』大岡昇平著、新潮文庫

『絵はがきにされた少年』藤原 章生著、集英社文庫

※『高校生の現代思想 ちくま論評選』岩間 輝生（編集）、佐藤 和夫（編集）、坂口 浩一（編集）、筑摩書房

参加者：12名

発表者：9名

場所：慶應MCC（丸の内シティキャンパス）

#### ●第5回東京ビブリオバトル・バイリンガル

日時：2014年8月27日19:00 - 21:00

【英語】

“Hooker”

※“Fortunately, the Milk” Neil Gaiman, HarperCollins

『きことわ』朝吹真理子著、新潮文庫

『嫌われる勇氣』岸見一郎、古賀史健著、ダイヤモンド社

『あなたが世界を変える日』セヴァン・カリス＝スズキ著、筑摩書房

【日本語】

『誘惑論・実践編』大浦康介著、晃洋書房

※『なせ宇宙人は地球に来ないのか』松尾貴史著、PHP新書

『鉄人ルー・テース自伝』講談社＋α文庫

“The 4-Hour Cheff” Timothy Ferriss, Amazon Publishing

参加者：8名

発表者：7名

場所：慶應MCC

#### ●第6回東京ビブリオバトル・バイリンガル

日時：2014年10月10日19:00 - 21:00

【英語】

“The Art of Matrix” Wachowaski, Newmarket Press

※“National Geographic ~Archive Books”

【日本語】

『おきやく、おことわり？』ポニー・ベッカー（文）、ケイディ・マクドナルド：デントン（絵）横山和江（訳）、岩崎書店

『地球の宝石』B・Tグリーヴx岩合光昭、竹書房

※『哲学ディベート～＜倫理＞を＜論理＞する』高橋昌一郎著、Kindle

『もうすぐ絶滅するという紙の書物について』ウンベルト・エーコ、ジョン＝クロード・カリエール著、工藤妙子訳、阪急コミュニケーションズ



参加者：7名  
発表者：6名  
場所：慶應MCC（丸の内シティキャンパス）

●第7回東京ビブリオバトル・バイリンガル

日時：2014年12月2日19:00 - 21:00

【英語】

※“Star Wars 英和辞典”学研辞書編集部、学研

『売れるデザインのしくみ』ウジトモコ著、ビーエヌエヌ新社

“Rippling” Beverly Schwartz, Jossey-Bass

『自分の小さな箱から脱出する方法』アービンジャー インスティテュート (著), 金森 重樹 (訳), 富永 星 (訳)、大和書房

“the Can of the Cave Bear”

【日本語】

『聖の青春』大崎喜生著、講談社文庫

『人に強くなる極意』佐藤優著、青春出版社

『江戸切絵図散歩』池波正太郎著、新潮文庫

※『京都花街の経営学』西尾久美子著、東洋経済新報社

『U理論入門』中土井僚著、PHP研究所

参加者：17名

発表者：9名

場所：慶應MCC（丸の内シティキャンパス）

●第8回東京ビブリオバトル・バイリンガル

日時：2015年1月22日19:00 - 21:00

【英語】

『ダイアローグ』デヴィッド・ボーム著、金井真弓訳、英治出版

※『演技者へ』マイケル・チェーホフ著、ゼン・ヒラノ訳、晩成書房

『隠蔽捜査』今野敏著、新潮文庫

【日本語】

『紙の月』角田光代著、角川文庫

※『犯行現場の作り方』安井俊夫著、メディアファクトリー

『反社会学』バオロ・マッツァリーノ著、イーストプレス

参加者：7名

発表者：6名

場所：慶應MCC（丸の内シティキャンパス）

●第9回東京ビブリオバトル・バイリンガル

日時：2015年2月25日19:00 - 21:00

【英語】

『赤毛のレッドメイン家』E・フィルボッツ著、安藤由紀子訳、集英社文庫

※『日本の色』

”a smart girl’s guide to knowing what to say~finding the words to fit any situation”

AmericanGirl

【日本語】

※『赤毛のレッドメイン家』E・フィルボッツ著、安藤由紀子訳、集英社文庫

『ゲーミフィケーション』井上明人著、NHK出版

『妻恋坂』北原亜以子著、文春文庫

『ヒトラー演説』高田博行著、中公新書

参加者：4名

発表者：4名

場所：スピーキングエッセイミーティングオフィス（神保町）

●第10回東京ビブリオバトル・バイリンガル

日時：2015年3月26日19:00 - 21:00（予定）

参加者：10名ほど（予測）

場所：慶應MCC（丸の内シティキャンパス）

## 2. Yokohama Book Cafe, ビブリオバトル x ワールドカフェ

これは、横浜で月1回開催してきている読書会（Yokohama Book Cafe）と関連づけてビブリオバトルを実施している。もともとは、単体として実施していたが、4回目にあたる時から、Yokohama Book Cafeの中にビブリオバトルを入れて、第一部ビブリオバトル、第二部ワールドカフェという方式にしている。テーマは、統一テーマにしている。

※は、チャンプ本。

●第1回横浜ビブリオバトル@Yokohama Book Cafe

日時：2014年9月23日10:00 - 12:00

【日本語】

※『先生！』池上彰著、岩波新書

『わたしのマトカ』片桐はいり著、幻冬舎文庫

参加者：5名

発表者：2名

場所：横浜市技能文化会館

●第2回横浜ビブリオバトル@Yokohama Book Cafe

日時：2014年11月29日10:00 - 12:00

参加者ゼロで中止。

●第3回横浜ビブリオバトル@Yokohama Book Cafe

～テーマ「ブルー」～

日時：2014年12月21日10:30 - 12:00

【日本語】

“extraordinary swimming for every body” Terry Laughlin, Total Immersion, Inc.

※“Accuracy of Death” Kotaro Isaka,

『星のふる夜に』

参加者：3名

発表者：3名

●第65回Yokohama Book Cafe “日本文化”を考えよう！

～ビブリオバトルxワールドカフェで！

日時：2015年2月8日13:15 - 16:30

【日本語】

『「若作りうつ」社会』熊代亨著、講談社現代新書  
『「朦朧」の時代』佐藤志乃著、人文書院  
『\_禅シンプル生活のすすめ』枡野俊明著、知的生き方文庫  
※『英語でよむ万葉集』リービ英雄著、岩波新書  
『風姿花伝』世阿弥、岩波文庫

参加者：7名

発表者：5名

場所：横浜市技能文化会館



2015年2月8日のYokohama Book Cafe、第一部のビブリオバトルの様子

●第66回Yokohama Book Cafe “資本主義と格差”について考えよう！

～ビブリオバトルxワールドカフェで語ろう！～

日時：2015年3月22日12:30 - 16:30（予定）

発表者：10名ほど

場所：横浜市技能文化会館

以上

## 本と遊ぼう！こどもビブリオバトル応援団 活動報告

NPO 法人新座子育てネットワーク/福祉の里児童センター

福田祐里（関東地区・埼玉県新座市）

連絡先（福祉の里児童センター）：[fukushi.j@ccn01.mygbiz.com](mailto:fukushi.j@ccn01.mygbiz.com)

新座子育てネットワーク HP：<https://sites.google.com/a/ccn.niiza-ksdt.com/ccn-top/>

ビブリオバトル活動ブログ：<http://www.niizabibliobattle.blogspot.jp/>

### 1. 概要

当事業は、ビブリオバトルを埼玉県新座市の子どものための新たな読書活動と位置づけ、子どもの読書活動の推進を図ること、また、地域に広くビブリオバトルを普及することで、地域全体の読書活動を活発にすることを目指し、実施したものである。

### 2. 内容

#### 1) フォーラム「子どもビブリオバトルを応援しよう！」

実施日：2014年4月27日（日）

対 象：読書やビブリオバトルに関心のある、小学3年生以上の市民

参加人数：26人（図書館職員、読書ボランティア、大学教員など）

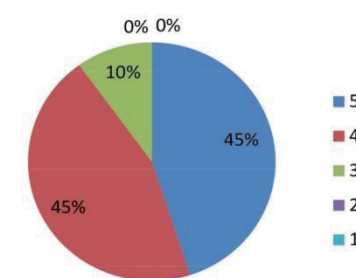
ビブリオバトルを知り、体験する機会を地域の読書推進に関わる人々に提供すること、ビブリオバトル推進の核となる人材を育成することを目的として実施した。当日は、図書館職員や大学教員など、幅広い方面から26人が参加した。

普及委員による指導、デモンストレーション、グループでの体験と、段階を踏んでの進行は、ビブリオバトル体験の機会として効果的だった。また、ビブリオバトルの開催プランを建てるワークショップを行い、参加者から具体的なアイデアが多数出された。その中のいくつかは、後日実際に開催に至ったという報告もあった。

終了後のアンケートでは、参加者の満足度が高かったことが示され、自由記述の感想も肯定的だった。ビブリオバトルの魅力を伝えるために、実際に体験する機会を設けることの有効性を示すような記述もみられた。

#### 【アンケート結果（抜粋）】

1. 本日の事業の満足度を、5～1で表わすと、何点ですか？



#### 【自由記述より】

- ・実際にしゃべってみて、考えているよりやってみることが大事だと感じた。
- ・本当に楽しく、読んでみたい本が増えた。
- ・ビブリオつながりの仲間ができたらいいなと思った。
- ・いろんなテーマで開催してみたい。



## 2) 児童センターでの実施「お試ししか！子どもビブリオバトルin 児セン」

実施日：2014 年 7 月 3 日（木）～8 月 20 日（水）の期間 全 9 回開催

対 象：市内または近隣在住の小学生以上

会 場：新座市児童センター・福祉の里児童センター

参加人数：のべ 129 人（内、小学 2 年生～中学生 25 人がバトラーを経験）

子どもたちに、ビブリオバトルの体験を通して読書の楽しさを発見する機会を提供することを目的として実施した。地域の身近な遊び場である児童センターを会場とし、多くの子どもたちに気軽に参加してもらうことを目指した。新座市には児童センターが 2 館あり、実施に当たっては、担当者がそれぞれの館にあったやり方を考えて行った。



どちらの館も、初めに職員や実習生など、大人がバトラーとなるデモンストレーションを行った。大人の発表を聞いて投票する、ということが子どもたちの興味をひき、参加者も多く、ビブリオバトルを知る機会として効果的であった。バトル中には、自分の投票した本がチャンプ本になったときに歓声があがったり、発表後すぐに、その本を読み始めるなどの反応が見られ、終了後には多くの子が「おもしろかった」と口にしていった。中には、「発表するならこの本かな」と考え始める子どももいた。

次の段階では、作戦会議と称して、子どもたちと普段読む本について話したり、ビブリオバトルを楽しむためにどんな方法があるかなどについて話しあい、その後の開催の参考にした。「発表時間は、3 分以上 5 分以内にしたい」「チャンプ本以外の得票数は発表しないでほしい」といった意見や、「参加賞があれば、発表してもいい」という声もあった。



子どもがバトラーとなる「子どもビブリオバトル」の開催時には、参加者を集めるのに大変苦心した。子どもたちへの話題提供や声掛けを工夫して、なんとか参加者を集めることができた。また、当日はバトルの前にアイスブレイクとしてゲームをしたり、参加賞を用意して楽しさを演出したほか、参加のハードルを下げる工夫として、「発表内容のヒントを伝える」「3 分か 5 分か、発表時間を選べる」「時間が余ったときは、司会役が手助ける」といったことも行い、ビブリオバトルが楽しい遊びである、という雰囲気を作った。

バトラーを経験した子どもの数は述べ 25 人で、参加した子どもの感想は肯定的だった。「きんちょうした」「思ったより楽しかった」という声のほか、「いろいろな本があって楽しかった」「〇〇くんの発表が良かった」など、ビブリオバトルの魅力が伝わったことがうかがえる感想もあった。発表された本をすぐに図書館で借りてきたり、友だちと貸し借りをするといった子どもたちの様子からは、ビブリオバトルの体験が次の読書体験につながったことがうかがえた。

## 3) 児童センター以外の施設での実施

実施日：2014 年 7 月 14 日（月）～9 月 1 日（月）の期間 全 4 回開催

対 象：市内または近隣在住のどなたでも

会 場：親子のフリースペース Hug

つどいのひろばセサミ・

栄保育園地域子育て支援センターるーえん

参加人数：のべ 32 人

（内、乳幼児の母親・新座子育てネットワークスタッフ 21 人がバトラーを経験）

子どもたちだけでなく、保護者にもビブリオバトルを広め、読書習慣づくりにつなげるため、地域子育て支援施設でも、ビブリオバトルを開催した。バトラーを経験したのは、乳幼児を子育て中の母親等、のべ 21 人だった。

発表された本は、子どもと一緒に楽しむ絵本が多く、母親ならではの意見や、どんな時にその本を読んでいるかなど、子育て期の過ごし方のヒントになる情報も語られた。終了後の感想も肯定的で、母親にとっても、ビブリオバトルの楽しさを実感したり、子どもの読書について考えたりする機会になったようだ。



## 4) 報告会「本と遊ぼう！子どもビブリオバトル応援団」

実施日：2014 年 9 月 6 日（土）

対 象：市内または近隣在住の方

参加人数：50 人

（フォーラム参加者・ビブリオバトル普及委員など）

地域への取り組みの周知と、今後の活動促進のための意見交換の場づくりを目的として実施した。参加者は、フォーラム参加者やビブリオバトル普及委員等 50 人であった。

当団体の取り組み報告の後、ビブリオバトル普及委員による講演と、パネルディスカッションを行った。

講演では、ビブリオバトルのルールの根拠や、子どもビブリオバトルの事例が紹介されたほか、子どもたちがビブリオバトルをする意義についても語られた。また、パネルディスカッションでは、児童センター職員、図書館職員がパネリスト、ビブリオバトル普及委員がコメンテーターとなり、ビブリオバトルについてそれぞれの立場からの話題が提供された。会場からも質問が出る等、子どもと読書、ビブリオバトルについてそれぞれが考える、有意義な機会となった。以下に、それぞれの内容を抜粋する。

【講演より 子どもたちとビブリオバトルを行う意義】

- ①本を紹介するとき、好きな本について改めて考えることが、自分を見つめなおす機会となり、心の成長にもつながる。
- ②他の人の発表を聞くことで、新しい本や、発表者の新たな一面を知ることができる。双方向のコミュニケーションも深まり、子どもたちの人間関係も広がる。
- ③地域でビブリオバトルを行うことで、子ども主体の活動の発展が期待できる。



#### 【パネルディスカッションより】

- 子どもたちの集客が大変難しい。読書がつまらないものになっている現状を変えるために、まずは大人が楽しんでいる姿を見せることが大切。また、今後ビブリオバトルを継続するため、小さなグループでの開催を繰り返し、身近なものにしていきたい。（児童センター職員）
- （今後の図書館の取り組みとして）図書館から一方向に提供する取り組みだけでなく、子ども同士が情報を発信し合い、やりとりをするような活動が必要。（図書館職員）
- （評価の目線が気になるという、会場からの質問に対して）「本に対する投票」と繰り返し伝えることが重要。チャンプ本を決めるだけでなく、その後のコミュニケーションも大事にしたい。（ビブリオバトル普及委員、ほか）

### 3. 地域との連携・広報活動

当事業は、「平成 26 年度 独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成活動」として助成を受け、実施した。事業を進めるにあたっては、教育委員会からの後援、図書館からのパネリスト派遣や広報のサポートなど、関係団体からの協力を得た。

また、計 4 回のチラシ配布、ホームページや Facebook ページ、専用ブログなどでのネット発信、校長会や教員の研修会へ出向いての宣伝など、広報活動を幅広くおこなった。報告会実施時には、それまでの活動をまとめた広報誌を作成し、参加者に配布を行った。

### 4. 成果と課題 報告会までを振り返って

フォーラムから報告会までを実施した成果は、ビブリオバトルの魅力を広く参加者に伝えることができたこと、次の読書体験につながるような感想・行動を引き出したことである。一方で課題は、バトラーとしての参加までのハードルの高さや、ビブリオバトル自体の知名度の低さである。今後、大人も子どもも気軽に参加できるような工夫をしつつ、継続してビブリオバトルを開催することで、課題を解決し、さらなる普及に努めたい。

### 5. その後の活動 新座市福祉の里児童センターでの「里のビブリオバトル」

実施日：2014 年 11 月 22 日(土)・2015 年 2 月 21 日

対 象：市内または近隣在住のどなたでも

参加のべ人数：子ども：23 人 大人：7 人（うち、バトラー：子ども 8 人 大人 4 人）

新座市福祉の里児童センターでは、「本と遊ぼう！子どもビブリオバトル応援団」終了後も継続して、ビブリオバトルを隔月 1 回実施している。これまでの課題を踏まえ、大人も子どもも気軽に参加してもらえよう、対象を限らずに実施している。そのため、発表時間は 5 分としているが、これまでと同じように、時間が余ったら司会者が手助けを



したり、その日に本を持っていなくても参加できるなど、子どもたちが気軽にバトラーにチャレンジできるように工夫をしている。

子どものバトラーはほとんどが小学生だが、幼稚園年長の子どもが、父親と一緒に絵本を紹介する回もあった。あらすじや好きなシーン・登場人物について自分で考えて順に話



す子や、始めから司会者とやりとりをしながら発表する子など、様子はさまざまである。5 分間、一人で話しきれず子どもはまだ現れないが、いかに時間を使い切るか、それぞれに一生懸命考える様子がうかがえる。発表後には、「発表も意外に、おもしろい」、「話したいことを話せて、ちょっとすっきりした」という肯定的な感想が聞かれた。

また、観戦者として参加した子どもたちは、メモをとりながら発表を聞き、「その本、知ってる」とつぶやいたり、質問も少しずつではあるが、出されるようになっている。「〇〇の本が面白そうだった」という感想も多く見られるようになった。

さらに、大人も子どもも一緒にビブリオバトルならではの良さも見られる。大人のバトラーが絵本を紹介する姿を見て、子どもたちが意外そうにしていたり、質問や、バトル後のおしゃべりなどで、お互いのコミュニケーションが生まれていることから、地域の大人と子どもの関係の広がりにも期待が持てる。ビブリオバトルを通して、大人がどんな本を読んでいるか、どのように読書を楽しんでいるかが伝わることで、子どもが読書に興味を持つきっかけにもなると考えている。

開催を重ねるごとに、ビブリオバトルを知っている子どもが増え、参加する子どもは、初めよりも本への興味を持って参加しているようだ。バトラーとしての参加のハードルはまだまだ高いが、今後も地域の皆が楽しく、気軽に参加できるような工夫を続けていきたい。

★活動の様子の詳細や、これまでに紹介された本、チャンプ本は、ブログに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



## 活動報告書

### 「高校生のビブリオバトルが益々普及するために」



読売新聞東京本社  
活字文化推進会議事務局  
中村卓哉(関東地区)  
nkmr7056@yomiuri.com



高校生の大会を担当して丸3年になります。

2012年度の首都圏高校生大会を皮切りに、2013年度の関東大会・関西大会と開催して

2014年度は、初の全国大会を計画し、全国9ブロック予選と沖縄県大会、さらに決勝大会と開催してきました。競技型ならでの課題もありますが、大会に参加した生徒さんが学校の図書館などで自主的に取り組んでいただけたら幸いです。そのために、これまでの大会から蓄積された資料などを駆使してお手伝いして参ります。

#### 【研修会講師】

- ・福井県高等学校教育研究会学校図書館部会 研修会(6月・10月)
- ・石川県学校図書館協議会 総会研修(7月)
- ・栃木県高等学校教育研究会図書館部会 研修(9月)
- ・第28回山梨県図書館大会 分科会(11月)
- ・宮崎県高等学校教育研究会図書館部会 秋季大会(11月)
- ・さいたま市学校図書館専門部会 研修会(2月)

## 2014 年度活動報告

高見京子(関東地区)

| 開催日    | 内容                                | 主催                 | 形態          | 活動      |
|--------|-----------------------------------|--------------------|-------------|---------|
| 5月19日  | 優良図書展示会 セミナー                      | (株)トーハン            |             | 受講・観戦   |
| 6月17日  | 東京学芸大学 司書教諭科目授業                   |                    | ワーク<br>ショップ | 指導      |
| 6月24日  | 東京学芸大学 司書教諭科目授業                   |                    | ワーク<br>ショップ | 指導      |
| 7月2日   | 昭島市公立小学校教育研究会                     | 昭島市                | ワーク<br>ショップ | 指導      |
| 7月4日   | 東京国際ブックフェア(TIBF)2014<br>こども広場イベント | さ・え・ら書房            | 講習会         | 講習・バトラー |
| 7月5日   | 学校図書館司書教諭のための連続講座                 | 東京学芸大学デジ読評価プロジェクト  | ワーク<br>ショップ | 指導      |
| 8月21日  | 江東区中学校図書館部会夏の研修会                  | 江東区中学校図書館部会        | ワーク<br>ショップ | 指導      |
| 9月2日   | 武蔵野大学 司書教諭科目授業<br>集中講義            |                    | ワーク<br>ショップ | 指導      |
| 9月28日  | 平成26年度高校生書評合戦東京都大会                | 公益財団法人文字・活字文化推進機構  | 大会          | 講評      |
| 10月4日  | 彩の国 2014 高校生ビブリオバトル               | 埼玉県教育委員会           | 大会          | 観戦      |
| 10月7日  | あきる野市子ども読書推進学校図書館関係者連絡会           | あきる野市図書館           | ワーク<br>ショップ | 指導      |
| 11月22日 | 東京学芸大学げんきフォーラム                    | 東京学芸大学・生協読書マラソン委員会 | セミナー        | 指導      |
| 12月10日 | 鳥取県高校図書館部会                        | 鳥取県立図書館            | ワーク<br>ショップ | 指導      |
| 12月13日 | ビブリオバトル in 相模大野                   | NPO 法人らいぶらいぶ       | ワーク<br>ショップ | 講習・バトラー |
| 1月11日  | 全国高等学校ビブリオバトル 2014 決戦大会           | 21世紀 活字文化プロジェクト    | 大会          | 観戦      |
| 2月7日   | ビブリオバトル                           | 小金井市貫井北分室          | イベント        | バトラー    |

## 学校でのビブリオバトルの活用推進を行っています！

木下通子（関東地区）  
埼玉県立春日部女子高校主任司書  
Tel048-752-3591（勤務先代表）



### 1 学校司書の立場で校内でのビブリオバトルを推進中

埼玉県立春日部女子高校は、校内で積極的にビブリオバトルを行っています。4月入学と同時に行われる一年生ビブリオバトルを皮切りに、6月には図書委員会主催、9月には文化祭のイベントとして、年間を通して活動しています。ビブリオバトルを通しての市内の高校との交流、各大会への出場などを行い、「読書」の幅を広げ自分の言葉で語れる子どもを育てています。

### 2 ビブリオバトルを導入する学校の支援をしています。

- ・学校でのビブリオバトルは社会人のビブリオバトルとどこが違うの？
- ・ビブリオバトルの指導ってどうすればいいの？

学校だからこそ悩んでしまうことってありますよね。ビブリオバトルを多くの学校で楽しんでもらえるように、ワークショップを中心とした普及活動を行っています。実際にビブリオバトルを体験していただくことでビブリオバトルの楽しさを感じてもらい春日部女子高校での事例をご紹介します。導入のアドバイスをさせていただきます。

2014年度は

- ・群馬県の高校図書館研究会
- ・長野市の小・中学校司書研修会
- ・静岡県立高校の職員研修 に伺いました。

学校図書館は、子どもたちに読む楽しさとわかる喜びを伝える場所です。ビブリオバトルはそんな学校図書館にぴったりの活動です！ビブリオバトルを通して、子どもたちが本と出会い、本について語ることで、自分と向き合ってもらえたら。

2015年度も、普及委員として、ビブリオバトルの楽しさを伝える活動を行っていきたいと思います。

## ビブリオバトル普及委員 活動報告書



関根タ希子（関東地区）  
yukkodesuyo@gmail.com

関東地区 東京都墨田区の普及委員 関根タ希子です。

2014 年度カフェを中心にビブリオバトルを開催致しました。皆さんの身近な場所で初めての方も参加しやすい雰囲気作りを心がけております。

### 【2014 年 開催実績】

1月 26 日（日）第 5 回ビブリオバトルin根津みのり café  
2月 16 日（日）第 6 回ビブリオバトルin根津みのり café  
2月 22 日（土）第 1 回ビブリオバトルin京島カフェトブカブ  
2月 25 日（火）第 2 回ビブリオバトルin池袋住み開きスペース  
3月 9 日（日）第 7 回ビブリオバトルin根津みのり café  
3月 24 日（月）第 3 回ビブリオバトルin池袋住み開きスペース  
4月 14 日（月）第 4 回ビブリオバトルin池袋住み開きスペース  
4月 20 日（日）第 8 回ビブリオバトルin根津みのり café  
5月 11 日（日）第 9 回ビブリオバトルin根津みのり café  
6月 1 日（日）第 10 回ビブリオバトルin根津みのり café  
6月 13 日（金）ビブリオバトルin蔵前

### 【活動例】

5月 11 日（日） 10:30 ～ 12:00 みのり café（東京都文京区根津 1-22-10）にて第 9 回ビブリオバトルin根津みのり caféを開催しました。

参加者 10 名（発表者 9 名、聴衆 1 名）でした。

紹介された本は、

1. オトナ語の謎（著：糸井重里）
2. マンフレッド（著：バイロン）
3. ヘンな間取り（著：ヘンな間取り研究会）
4. 学年ビリのギャルが 1 年で偏差値を 40 上げて慶応大学に現役合格した話（著：坪田信貴）
5. 第三の銃弾（著：スティーブン・ハンター）



- 6.乙女座の君へ（著：鏡リュウジ）  
7.チャーリー・ブラウンなぜなんだい？（著：チャールズ・M・シュルツ）  
8.夜中の薔薇（著：向田邦子）  
9.東京の合唱（著：小西康陽）  
チャンプ本は、『第三の銃弾（著：スティーブン・ハンター）』でした。



以上

## 鷺沼 Book 倶楽部 2014 年度活動報告

氏名： 坂本那香子（関東地区）  
連絡先： nakakos2006@gmail.com  
団体 URL： <http://saginuma-book-club.jimdo.com/>



顔写真：

活動報告：

「鷺沼でビブリオバトル！鷺沼 Book 倶楽部」は、2015 年 8 月に開設されたまだ新しい倶楽部です。開設以来、毎月第 4 水曜日に、田園都市線鷺沼駅近辺の飲食店で会を重ねてきました。現在までに計 6 回が開催され、参加人数も述べ 20 人を超えました。

鷺沼 Book 倶楽部の特徴は下記 5 点です。

1. 毎回「選択」「温故知新」「わが街」などのテーマが設定されていること。
2. 飲食店でお食事やお酒を楽しみながら開催され、ビブリオバトルが初めての方でも気軽に参加できる会であること。実際に、参加者の 8 割はビブリオバトル初参戦の方々です。
3. 鷺沼駅近くのローカルなレストランでの開催にこだわっていること。
4. リピーター率が非常に高く、これまでの参加者はほぼ全員 2 回、3 回とお越し下さること。
5. 老若男女に偏りがなく、参加者のプロフィールが幅広いこと。

ビブリオバトルってなんだかちょっと怖そう…というイメージを払しょくし、初心者でも寛ぎつつ好きな本について語り合える場を今後も提供し続けたいと思います。

## 埼玉県東部（埼玉葛地方）

### 東武スカイツリーライン沿線にビブリオバトルの風を！

武田 利一（関東地区）

連絡先：090-4816-3453

E-mail：[TozTakeda@gmail.com](mailto:TozTakeda@gmail.com)



#### 【2014 年度活動報告】

##### ① 「ビブリオバトル in ぼんとん」

- 第1回（ 1／26） 11名参加（発表8名） 2013年度
- 第2回（ 3／ 2） 12名参加（発表9名） 2013年度
- 第3回（ 4／ 6） 6名参加（発表5名）
- 第4回（ 5／25） 7名参加（発表6名）
- 第5回（ 6／22） 7名参加（発表7名）
- 第6回（ 7／ 6） 8名参加（発表8名）
- 第7回（ 8／17） 8名参加（発表8名）
- 第8回（ 9／23） 6名参加（発表6名）
- 第9回（11／ 2） 5名参加（発表5名）
- 第10回（12／7） 7名参加（発表6名）
- 第11回（1／18） 7名参加（発表7名）
- 第12回（2／15） 5名参加（発表4名）
- 第13回（3／ 8） 実施予定



古本屋兼集会所「ぼんとん」にて開催

（杉戸高野台駅西口より徒歩5分）

毎月1回の予定で開催しています。宣伝は、「ぼんとん」掲示板のみなので、周辺の方7～8名の読書好きの方が口コミで参加しています。

##### 「ビブリオバトル in 越谷」

- 第1回（ 8／30） 6名参加（発表4名）
- 第2回（ 9／27） 6名参加（発表6名）
- 第3回（11／15） 8名参加（発表6名）
- 第4回（ 1／31） 8名参加（発表6名）
- 第5回（ 3／28） 実施予定



会社（第1回～第4回）にて開催

（越谷駅東口より徒歩3分）

越谷駅前ツインシティ Bシティ（左）5階

越谷市市民活動支援センター活動室

（越谷駅東口より徒歩1分）

会社で開催していましたが、一般市民にも参加を呼びかけようということで、越谷市市民活動支援センターの登録団体として申請中。2月末に登

されれば、第5回を開催する予定です。宣伝としては、越谷市内の図書館や本屋さんの掲示板に掲示をお願いする予定です。

また、高校の司書グループ（春日部女子高校内に事務局）や隣接する吉川市の図書館で催されているビブリオバトルとも共催していくように働きかける予定です。

#### 2015年度活動計画】

##### 「ビブリオバトル in ぼんとん」

昨年度と同様に、月1回のペースで開催される予定なので、それを支援していく予定です。具体的には、ホームページ (<http://www.tozsun.com/dokusyo/biblio-bonton.html>) に実施報告を掲載し、次回の日時の連絡をしていく。

##### 「ビブリオバトル in 越谷」

4月から5月にかけて行われる越谷市市民活動支援センター登録月間に参加して、2015年度の登録団体となり、6月から活動室の利用（午後使用、30人規模、1000円）が出来るようにする。また、月1度ある登録団体責任者会議に参加し、横とのつながりも模索して、他の団体との共催でビブリオバトルが開催できるようにする。

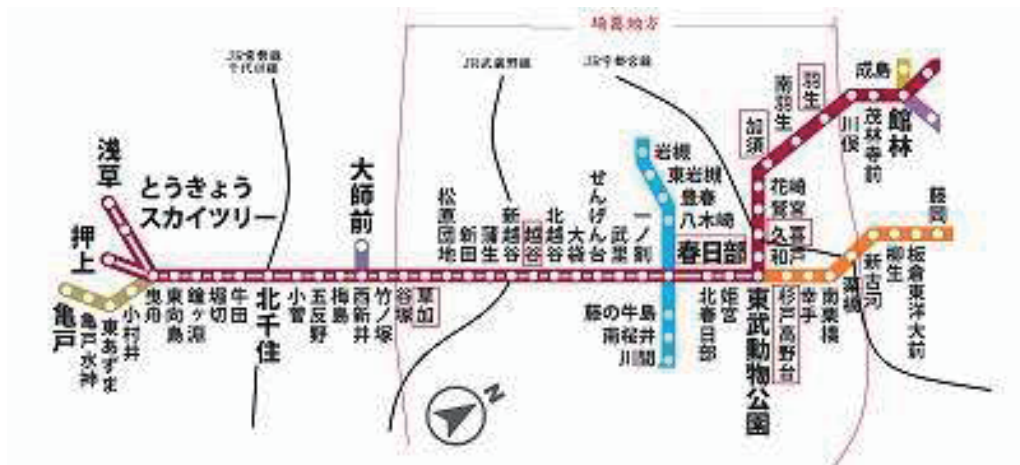
また、会員になるように呼びかけ、開催日のお知らせを、Eメールや電話やチラシやホームページ (<http://www.tozsun.com/dokusyo/biblio-koshigaya.html>) などで行う。越谷市内の図書館や本屋さんへの掲示もお願いしていく予定です。

今までとは違って、多人数になる可能性もあるので、東京都の本郷図書館で実施されている方法を参考にしていきながら工夫するつもりです。



### 【今後の計画】

埼葛地方（東武スカイツリーライン沿線）の各都市に開催地を作り、可能な範囲で開催していきたい。



計画では、上図の赤色で囲った駅（左から順に、草加、越谷、春日部、杉戸高野台、久喜、加須、羽生）の全てで開催する夢を持っている。実は、高校教員として過去に勤務した学校（3校+再任用として4校）のある場所なので、卒業生や同僚（定年退職して読書三昧の方も多い）がたくさんいるのが、開催の足掛かりになるからだ。